DOCUMENT RESUME

ED 061 797 FL 002 990

TITLE	Japanese Basic Course: Exercise Book.
INSTITUTION	Defense Language Inst., Washington, D.C.
SPONS AGENCY	Department of Defense, Washington, D.C.
REPORT NO	DLI-01-JA-47
PUB DATE	Dec 71
NOTE	91p.
AVAILABLE FROM	Director, Defense Language Institute, Department of the Army, U.S. Naval Station, Anacostia Annex, Washington, D.C. 20390 (With specific permission)
EDRS PRICE	MF-$0.65 HC Not Available from EDRS.
DESCRIPTORS	*Conversational Language Courses; Cultural Education; Dictionaries; Grammar; *Instructional Materials; *Intensive Language Courses; *Japanese; Language Instruction; *Modern Languages; Textbooks
IDENTIFIERS	*Kanji

ABSTRACT

This exercise book, prepared for use after Lesson 121 of the Defense Language Institute Basic Course in Japanese, provides for instruction in the use of Kanji dictionaries, familiarizes students with useful phrases and expressions that are not included in the Basic Course, and allows for greater variety in the classroom. The ten lessons, in the Japanese Kanji script, deal with grammatical items, idioms and expressions, proverbs, politeness, and other cultural matters. Students are to perform exercises in class under the instructor's supervision and discuss the results the following day. (RL)

ED 061797

J A P A N E S E

BASIC COURSE

Exercise Book

U.S. DEPARTMENT OF HEALTH, EDUCATION & WELFARE
OFFICE OF EDUCATION

THIS DOCUMENT HAS BEEN REPRODUCED EXACTLY AS RECEIVED FROM THE PERSON OR ORGANIZATION ORIGINATING IT. POINTS OF VIEW OR OPINIONS STATED DO NOT NECESSARILY REPRESENT OFFICIAL OFFICE OF EDUCATION POSITION OR POLICY.

December 1971

DEFENSE LANGUAGE INSTITUTE

FL 002 990

DEFENSE LANGUAGE INSTITUTE

This pamphlet is for use by the faculty, staff and students of the Defense Language Institute solely for official purposes. It is NOT for general distribution. It may NOT be released to other persons, quoted or extracted for publication, or otherwise copied or distributed without specific permission in each instance from the Director, Defense Language Institute.

"PERMISSION TO REPRODUCE THIS COPYRIGHTED MATERIAL BY MICROFICHE ONLY HAS BEEN GRANTED BY
DEFENSE LANGUAGE INSTITUTE
TO ERIC AND ORGANIZATIONS OPERATING UNDER AGREEMENTS WITH THE U.S. OFFICE OF EDUCATION. FURTHER REPRODUCTION OUTSIDE THE ERIC SYSTEM REQUIRES PERMISSION OF THE COPYRIGHT OWNER."

Roy M Kessler

ROY M. KESSLER
Colonel, USA
Director

PREFACE

This exercise book has been prepared for use after Lesson 121 of the Basic Course, during the third hour of the morning for the following purposes:

1. To break the monotony of the daily routine of the classroom.
2. To teach the use of Kanji dictionaries.
3. To familiarize students with useful phrases and expressions that are not included in the Basic Course.

Students will perform specific exercises as directed by instructors and turn them in at the end of the hour. Instructors will review and discuss corrected exercises the next day.

TABLE OF CONTENTS

		Page
1.	Kanji Items 1-94	1
2.	Kanazukai Items 1-9	32
3.	Ko, so, a, do Items 1-4	35
4.	Particles Items 1-10	37
5.	Conjunction Items 1-6	41
6.	Idioms and expressions Items 1-21	43
7.	Proverbs Items 1-12	50
8.	Politeness Items 1-14	54
9.	Miscellaneous (Sentences) Items 1-14	60
10.	General Items 1-31	65

1. Kanji

かん字の部首となまえ

亻(人)	へん
彳	にんべん
木	ぎょうにんべん
上	きへん
女	つちへん
忄(心)	おんなへん
	りっしんべん
刂(刀)	つくり
力	りっとう
阝	ちから
頁	おおざと
殳	おおがい
	るまた
宀	かんむり
竹	うかんむり
艹	たけかんむり
雨	くさかんむり
冘	あめかんむり
亠	あなかんむり
丬(老)	なべぶた(けいさんかんむり)
	おいかんむり
厂	たれ
广	がんだれ
尸	まだれ
疒	しかばね
	やまいだれ
口	かまえ
門	くにがまえ
匚	もんがまえ
冂	はこがまえ
勹	けいがまえ
	つつみがまえ
灬(火)	あし
心	れんが(したび)
皿	こころ
	さら
辶	にょう(にゅう)
廴	しんにゅう
辵	えんにょう
儿	そうにょう
	にんにょう

部首さくいん

＊じるしは新しく設けた部首

一画

一 いち 三九
丨 たてぼう 五五
丶 てん 五七
ノ はらいぼう 五九
乙 おつ おつにょう 六〇
亅 はねぼう 六二

二画

二 に 六三
亠 なべぶた けいさんがんむり 六五
人 ひと 九〇
儿 ひとあし にんにょう 九六
入 いる いりがしら 一〇〇
八 はち はちがしら 一〇一
冂 どうがまえ 一〇五
冖 わかんむり 一〇八
冫 にすい 一〇九
几 つくえ 一一〇
凵 うけばこ 一一一
刀 かたな 一一三
力 ちから 一一三
勹 つつみがまえ 一一六
匕 ひ 一一九
匚 はこがまえ 一一〇
十 じゅう 一一一
卜 うらない 一一六
卩 わりふ ふしづくり 一一六
厂 かんだれ 一一八
厶 む 一一九
又 また 一一一
口 くち くちへん 一一四
囗 くにがまえ 一一五
土 つち つちへん 一一七
士 さむらい 一一八
夂 ふゆがしら 一一八
夊 すいにょう 一一八
夕 ゆうべ 一一八
大 だい 一一八
女 おんな おんなへん 一一九
子 こ こへん 二〇三
宀 うかんむり 二〇六
寸 すん 二一八
小 しょう 二二二
尢 だいのまげあし 二二七
尸 かばね しかばね 二二七
山 やま やまへん 二三〇
川 かわ 二三三
工 たくみ たくみへん 二三四
己 おのれ 二三六
巾 はば きんへん 二三六
干 かん いちじゅう 二四〇
幺 よう いとがしら 二四三
广 まだれ 二四四
廴 えんにょう 二四八
廾 こまぬき 二四九
弋 よく しきがまえ 二四九
弓 ゆみ ゆみへん 二五〇
彐 けいがしら 二五四
彡 さんづくり 二五四
彳 ぎょうにんべん 二五六
心 こころ 三四九
戈 ほこ ほこがまえ 三六一
戸 とかんむり 三六四
手 て 三六五
支 しにょう 三六八
攵 のぶん 三六九
文 ぶん 三七五
斗 とます 三七六
斤 きん おのづくり 三七七
方 かた かたへん 三七九
无 むにょう 三八〇
日 ひ ひへん 三八一
曰 いわく 三八九
月 つき つきへん 三九一
木 き きへん 四〇二
欠 かける あくび 四一八
止 とめ とめへん 四二〇
歹 いちたへん がつへん 四二三
殳 るまた 四二四
毋 はは 四二五
比 ひ くらべる 四二六
毛 け 四二七
氏 うじ 四二七
气 きがまえ 四二八
水（氷） みず 四二九
火 ひ ひへん 四三二
爪 つめ つめがんむり 四三六
父 ちち 四四一
爿 しょうへん 四四一
片 かたへん 四四一
牛 うし うしへん 四四二
犬 いぬ 四四四
王（玉） おう たまへん 四四五
礻 しめすへん 四四八

五画

玄 げん 四五二
甘 かん あまい 四五二
生 う うまれる 四五二
用 もちいる 四五四
田 た 四五五
疋 ひき 四五九
疒 やまだれ 四五九
癶 はつがしら 四六二
白 しろ 四六三
皮 ひかわ 四六五
皿 さら 四六五
目 め めへん 四六七
矛 ほこ ほこへん 四七二
矢 や やへん 四七二
石 いし いしへん 四七四
示 しめす 四七七
禾 のぎへん 四七八
穴 あな あなかんむり 四八二
立 たつ 四八五
衤 ころもへん 四八七
罒 あみめ あみがしら 四八九
衣 ころも 四九〇
竹 たけ たけかんむり 四九三
米 こめ 四九八
糸 いと 五〇一
羊 ひつじ 五一五
羽 はね 五一七
臣 しん 五三四

六画

老 おいかんむり 五一八
而 しかして 五一九
耒 すきへん 五二〇
耳 みみ みみへん 五二〇
聿 ふでづくり 五二二
肉 にく 五二二
自 みずから 五二二
至 いたる 五二五
舌 した 五二五
舟 ふね 五二六
艮 こんづくり 五二七
色 いろ 五二八
虍 とらがしら 五二八
虫 むし むしへん 五二九
血 ち 五三〇
行 ぎょうがまえ 五三一
西 にし 五三三
亙 つき 五三四
里 さと 五三五
采 のごめ 五三六
酉 とり 五三七
辰 しんのたつ 五三七
辛 からい 五三七
車 くるま くるまへん 五三七
身 み 五三八
足 あし あしへん 五三九
走 そうにょう 五三八
赤 あか 五三四
貝 かい かいへん 五三四
豕 ぶた いのこ 五三三
豆 まめ 五三三
谷 たに 五三三
言 こと こんへん 五三九
角 つの つのへん 五三八
見 みる 五三四
骨 ほね ほねへん 六一〇
高 たか 六一〇
髟 かみがしら 六一二
鬼 おに 六一二
魚 うお うおへん 六一三
鳥 とり とりへん 六一四
鹿 しか 六一五
麻 あさ あさかんむり 六一五
黄 き 六一五
黒 くろ 六一九
黹 ぬい 六一九
鼎 かなえ 六一九
鼓 つづみ 六一九
鼠 ねずみ 六一九
鼻 はな 六一九
齊 せい 六一九

七画

八画

九画

一〇画

一一画

一二画

一三画

一四画

三画

四画

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

一、つぎの文中の□の部分に左の□の中から適当なことばを選んで記号で入れなさい。（20点各2）

①辞典は「あいうえお、かきくけこ…」の順、つまり②順にことばをならべてあるのがふつうです。つぎに③音が先で、ついで④音、⑤音の順になります。また、⑥辞典は漢字を分解してその組み立て部分に分け、その部分で引くようになっています。表紙をめくったところに⑦索引（さくいん）があります。引き方は、一つの部首で引いてみてなければ、また別の部首で引いてみなければなりません。たとえば「明」をつくりの「月」で引いてなければ、⑧の「日」で引いてみるようにするのです。その他の引き方に⑨索引というのがあります。これは漢字全体の画数によって引けるようにしたものです。また、漢字の音か訓がわかっていれば⑩索引で調べるといちばんかんたんに引くことができます。

㋐かまえ　㋑つくり　㋒たれ　㋓へん　㋔漢和
㋕清　㋖音　㋗半濁　㋘部首　㋙音訓　㋚総画
㋛国語　㋜画数　㋝濁　㋞五十音

二、つぎの漢字の部首名を書きなさい。

住（　）　税（　）　祝（　）　油（　）
補（　）　味（　）　電（　）　因（　）
往（　）　験（　）　始（　）　速（　）
招（　）　腹（　）　殺（　）　峰（　）
配（　）　写（　）　疾（　）　然（　）

注　「礻」と「衤」とをまちがえないこと。

解答　住は「亻」（にんべん）　税は「禾」（のぎへん）　祝は「礻」（しめすへん）　油は「氵」（さんずい）　補は「衤」（ころもへん）　味は「口」（くちへん）　電は「雨」（あめかんむり）　因は「囗」（くにがまえ）　往は「彳」（ぎょうにんべん）　験は「馬」（うまへん）　始は「女」（おんなへん）　速は「辶」（しんにゅう）　招は「扌」（てへん）　腹は「月」（にくづき）　殺は「殳」（るまた）　峰は「山」（やまへん）　配は「酉」（とりへん）　写は「冖」（わかんむり）　疾は「疒」（やまいだれ）　然は「灬」（れっか）である。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

㊂　つぎのかん字のうち、「かんむり」のついたものに○、「へん」のついたものに△、「たれ」のついたものに×をしなさい。（15点）

①□—案　□—院　□—英　□—芽　□—階
②□—協　□—底　□—写　□—庭　□—燈
③□—転　□—放　□—府　□—働　□—等

㊃　つぎの部首のつくかん字をそれぞれ四つずつ書きなさい。

(ア)　木（きへん）　＝（　）（　）（　）（　）
(イ)　氵（さんずい）＝（　）（　）（　）（　）
(ウ)　艹（くさかんむり）（　）（　）（　）（　）
(エ)　扌（てへん）　＝（　）（　）（　）（　）
(オ)　辶（しんにゅう）＝（　）（　）（　）（　）
(カ)　言（ごんべん）＝（　）（　）（　）（　）

㊄　つぎの部首のつくかん字を二つずつ書きなさい。

(ア)しめすへん＝（　）（　）　(イ)いとへん＝（　）（　）
(ウ)おいがしら＝（　）（　）　(エ)かねへん＝（　）（　）
(オ)したごころ＝（　）（　）　(カ)つちへん＝（　）（　）
(キ)もんがまえ＝（　）（　）　(ク)おおがい＝（　）（　）
(ケ)うかんむり＝（　）（　）　(コ)にくづき＝（　）（　）
(サ)ころもへん＝（　）（　）　(シ)うしへん＝（　）（　）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

六

つぎのかん字の部首の名まえを書きなさい。

(ア)秋・科＝（　　）　(イ)代・作＝（　　）
(ウ)発・登＝（　　）　(エ)地・坂＝（　　）
(オ)輸・転＝（　　）　(カ)店・度＝（　　）
(キ)答・算＝（　　）　(ク)延・建＝（　　）
(ケ)柱・森＝（　　）　(コ)役・徒＝（　　）
(サ)社・神＝（　　）　(シ)頭・顔＝（　　）

解答 (ア)（のぎへん） (イ)（にんべん） (ウ)（はつがしら） (エ)（つちへん） (オ)（くるまへん） (カ)（まだれ） (キ)（たけかんむり） (ク)（えんにょう） (ケ)（きへん） (コ)（ぎょうにんべん） (サ)（しめすへん） (シ)（おおがい）

七

つぎの漢字のうち「まだれ」には○、「やまいだれ」には△、「がんだれ」には×のしるしをつけなさい。

厘　庫　疲　周　風　原　広　包　病　府　完　厚

八

つぎの漢字のうち「しんにゅう」の字には○、「えんにゅう」の字には△のしるしをつけなさい。

谷　遠　国　延　春　近　建　起　照　問　盛　連
騎　遊　役　賜　追　巨　村　峠　速　秋　送　越

九

つぎの漢字は何画ですか（　）の中に、その画数を書き入れなさい。　例（8）空

（　）安　（　）演　（　）海
（　）胃　（　）果　（　）解
（　）育　（　）賀　（　）幹
（　）疑　（　）厳　（　）刷
（　）協　（　）護　（　）雑

注　「雑」の「乙」は一画

解答 画数の数え方は、ㇴ ㇆ ㇇ ㇈ し乙などは二画・三画のように見えるが、一画に数えるのがふつう。
安は(6)　演は(14)　海は(9)　胃は(9)　果は(8)
解は(13)　育は(8)　賀は(12)　幹は(13)　疑は(14)
厳は(17)　刷は(8)　協は(8)　護は(20)　雑は(14)である。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十三

つぎの文の□の中にあてはまる適当なことばを、あとから選んで、その記号を書きなさい。

読み方のわからない漢字を□で調べるにはまず、□の□を考えて、その□を数えます。読み方がわかっていて、意味のわからないことばを調べるには、□を使います。

㋐画数　㋑国語辞典　㋒漢和辞典　㋓部首

㋔漢字　㋕記号　㋖意味

十四

つぎの漢字に「不」「無」「非」のどれかをつけて、「不」をつけて意味のわかるものには「A」を、「無」の場合には「B」を、「非」の場合には「C」を、どれもつけられないものには「D」を（　）の中に書きなさい。

（　）視　（　）成功　（　）経験　（　）凡　（　）根気 [redacted]

十五

つぎのことばの下に「的」のつけられるものは○、つかないものに×をつけなさい。

①試験（　）　②成功（　）　③固定（　）

④家屋（　）　⑤料理（　）　⑥陸上（　）

⑦最後（　）　⑧広場（　）　⑨失敗（　）

⑩採用（　）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十六 つぎの漢字の読み方について、正しいものの記号を○でかこみなさい。

(1)運転 （①うんてん　②うんぱん　③うんどう）
(2)計画 （①けいが　②けいさん　③けいかく）
(3)土地 （①とち　②つちち　③どち　）
(4)熱心 （①ねつしん　②ねっしん　③ねつい　）
(5)独唱 （①どうしょう　②どくしょう　③どくきょう）
(6)下落 （①げらく　②からく　③げおち　）
(7)軽快 （①かいかつ　②かるかい　③けいかい）
(8)音波 （①おとなみ　②おんぱ　③おとは　）
(9)海草 （①かいそう　②うみぐさ　③うみそう）
(10)頭上 （①とうじょう　②あたまじょう　③ずじょう）

十七 つぎのかん字の正しい読み方に○をつけなさい。

①反省 ｛へんしょう／はんしょう／はんせい｝　②目標 ｛もくひょう／めひょう／もくひょ｝

③失敗 ｛しゅっぱい／しっはい／しっぱい｝

十八 つぎのかん字の正しい読みがなを下から選び、その記号を答えのらんに書きなさい。（10点）〔清心中〕

(1)生存 （㋐せいぞん　㋑せいざい　㋒しょうそん）
(2)企画 （㋐きかく　㋑きが　㋒かいかく　）
(3)絵画 （㋐えいが　㋑かいが　㋒かいかく　）
(4)素性 （㋐すせい　㋑すじょう　㋒そせい　）
(5)口調 （㋐こちょう　㋑こうちょう　㋒くちょう　）
(6)歯科 （㋐しか　㋑はか　㋒しいか　）
(7)平易 （㋐へいよう　㋑へいえき　㋒へいい　）
(8)貴重 （㋐きじゅう　㋑きちょう　㋒きおも　）
(9)最期 （㋐さいぎ　㋑さいご　㋒さいき　）
(10)象形 （㋐ぞうけい　㋑ぞうぎょう　㋒しょうけい）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十九

□の中から漢字を選び、□の中に書き入れてじゅく語を完成しなさい。

験　夕　写　際　検　己　送　帯　済　遺　調　演　害　子

①政治経□　②一朝一□　③予行□習
④工業地□　⑤利□主義　⑥文化□産
⑦南極探□　⑧世論□査　⑨電□写真
⑩国□空港

ヒント　多く新聞などに使われていることばである。だから、このようなことばは平素から、覚えていくことがたいせつである。

二十

つぎのじゅく語を見て、正しいほうに○をしなさい。（8点）

①ア成積　イ成績
②ア労働　イ労動
③ア記録　イ紀録
④ア気節　イ季節
⑤ア自真　イ自信
⑥ア通交　イ通行
⑦ア教界　イ教会
⑧ア図安　イ図案

二十一

つぎのような場合には、どのかん字を使ったらよいでしょう。正しくないほうを――でけしなさい。

①医印院　②飲色食
③貨物持　④人造湖粉
⑤開加花　⑥安然全
⑦文正章　⑧漁港工
⑨博物館観　⑩運天転

二十二

つぎの□の中に下のらんのかん字を入れてまとまったことばにしなさい。

(1)情□　(2)任□　(3)圧□　(4)教□（力・景・養・協・務）
(5)□人　(6)□当　(7)独□　(8)□解（発・適・理・特・個）
(9)他□　(10)注□　(11)夫□　(12)分□（入・通・界・乗・妻）
(13)□路　(14)□熱　(15)□列　(16)□識（上・知・情・家・差）
(17)□程　(18)糸□　(19)式□　(20)経□（口・費・工・止・辞）

二十三

つぎのかん字のことばの読みを、□の読み方の中から選び、その番号を()の中に入れなさい。

( )資格　( )絹糸　( )暴風　( )犯人　( )提出
( )未知　( )経営　( )災害　( )名称　( )損失
( )税関　( )制作　( )文化財　( )授賞　( )善人

①せいさく　②さいがい　③ぜんにん　④しかく
⑤みち　⑥はんにん　⑦ぜいかん　⑧じゅしょう
⑨きぬいと　⑩けいえい　⑪そんしつ　⑫ぼうふう
⑬ていしゅつ　⑭ぶんかざい　⑮めいしょう

二十四

つぎのかん字のことばの読みを、□の読み方の中からえらび、その番号を()の中に入れなさい。

( )成功　( )参考　( )胃腸　( )漁船　( )区別
( )五億　( )年令　( )浴場　( )例外　( )必要
( )満足　( )A型　( )欠席　( )筆順　( )最低

①ねんれい　②けっせき　③ぎょせん　④れいがい
⑤さんこう　⑥ひつよう　⑦いちょう　⑧せいこう
⑨さいてい　⑩ごおく　⑪くべつ　⑫よくじょう
⑬ひつじゅん　⑭まんぞく　⑮Aがた

二十五

つぎのかん字のことばの読みを、あとの読み方の中から選び、その番号を()の中に入れなさい。

( )潔白　( )有益　( )両眼　( )有効　( )能率
( )学資　( )気絶　( )豊年　( )得意　( )省略
( )談判　( )最善　( )状態　( )採用　( )故国

①ゆうこう　②どくい　③ここく　④だんぱん
⑤けっぱく　⑥じょうたい　⑦さいよう　⑧のうりつ
⑨ゆうえき　⑩がくし　⑪しょうりゃく
⑫りょうがん　⑬さいぜん　⑭きぜつ　⑮ほうねん

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

二十六

つぎのかん字の読みを（　）の中に書きなさい。（[redacted]）

㋐電燈（　　）　㋑十日（　　）
㋒昭和（　　）　㋓工事（　　）
㋔八日（　　）　㋕水道（　　）
㋖西洋（　　）　㋗大通り（　　）
㋘月曜（　　）　㋙自動車（　　）

二十七

つぎのじゅく語の読み方を書きなさい。

幼年（　　）　牛乳（　　）　砂糖（　　）
簡単（　　）　巻尺（　　）　縦横（　　）
大樹（　　）　蒸発（　　）　垂直（　　）
源泉（　　）　演劇（　　）　映画（　　）

二十八

つぎのじゅく語の読み方を書きなさい。（[redacted]）

①死亡（　　）　②値段（　　）　③模様（　　）
④内閣（　　）　⑤経過（　　）　⑥自宅（　　）
⑦洗車（　　）　⑧熟練（　　）　⑨困難（　　）
⑩磁石（　　）

二十九

つぎのかん字に読みがなをつけなさい。

（　　）（　　）（　　）（　　）
正月　作業　現象　大工　一生
（　　）（　　）（　　）（　　）
見物　野生　計画　絵画　音色
（　　）（　　）（　　）（　　）
始終　動作　養生　風体　漁師

三十

つぎのかん字に読みがなをつけなさい。（[redacted]）

①交通機関（　　）　②印刷機械（　　）　③自然観察（　　）
④生産都市（　　）　⑤読書生活（　　）　⑥遠洋漁業（　　）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

三十一

つぎのかん字の読みがなを（　）の中に書きなさい。

①（文部省）（省く）
②（宿場）（宿屋）
③（氏名）（氏神）
④（参考書）（参る）
⑤（漁港）（大漁）
⑥（求人）（求める）
⑦（光栄）（栄える）
⑧（小説）（説く）
⑨（数量）（量る）
⑩（筆順）（筆ばこ）
⑪（勝敗）（敗れる）
⑫（深浅）（浅い）

三十二

つぎのかん字の読みがなを（　）の中に書きなさい。

①（職務）（務める）
②（比率）（率いる）
③（無言）（無い）
④（承知）（承る）
⑤（国境）（境）
⑥（再生）（再び）
⑦（人災）（災い）
⑧（妻子）（妻）
⑨（改正）（改める）
⑩（現金）（現われる）
⑪（採集）（採る）
⑫（神社）（社）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

三十三

つぎのかん字のことばに、読みがなをつけなさい。

①営業（　　）　②減少（　　）　③授業（　　）　④判断（　　）　⑤得点（　　）
⑥率直（　　）　⑦程度（　　）　⑧述語（　　）　⑨検査（　　）　⑩禁止（　　）
⑪新幹線（　　）　⑫入場券（　　）　⑬週刊紙（　　）　⑭効果的（　　）　⑮再出発（　　）

三十四

つぎのかん字に、読みがなを書きなさい。（15点）

①倉庫（　　）　②病毒（　　）　③記念（　　）　④漁師（　　）　⑤気候（　　）
⑥単位（　　）　⑦印象（　　）　⑧感想（　　）　⑨入浴（　　）　⑩軍隊（　　）
⑪大量生産（　　）　⑫漢和辞典（　　）　⑬二十一世紀（　　）
⑭満員電車（　　）　⑮博物学者（　　）

三十五

、つぎのかん字に読みがなをつけなさい。（20点）

続く（　　）　境内（　　）　素足（　　）　無言（　　）　国境（　　）〔修道中〕
現象（　　）　見物（　　）　似る（　　）　熱い（　　）　計る（　　）〔比治山中〕
一夜（　　）　雨戸（　　）　果実（　　）　半月（　　）　大きい（　　）〔鈴峯中〕
野鳥（　　）　習性（　　）　向ける（　　）　文明（　　）　親しげ（　　）〔広島女学院中〕

三十六

、つぎのかん字の読み方を（　）の中に書きなさい。（20点）

①進歩（　　）　②失敗（　　）
③投書（　　）　④悲鳴（　　）
⑤無言（　　）　⑥注意（　　）
⑦直線（　　）　⑧単位（　　）
⑨兄弟（　　）　⑩作業（　　）

二十七

（　　）の中に読みがなを書きなさい。（10点）

① 愛国（　　）　② 対談（　　）　③ 共有（　　）

④ 労働（　　）　⑤ 遠洋漁業（　　）

二十八

つぎのかん字のことばに、読みがなをつけなさいい。

① 満員（　　）　② 氏名（　　）　③ 倉庫（　　）

④ 右側（　　）　⑤ 牧場（　　）

⑥ 命令（　　）　⑦ 貯金（　　）　⑧ 軍隊（　　）

⑨ 投票（　　）　⑩ 伝説（　　）

二十九

つぎのかん字のことばに、読みがなをつけなさい。

① 空想（　　）　② 完成（　　）　③ 中央（　　）

④ 試験（　　）　⑤ 課題（　　）　⑥ 各国（　　）

⑦ 希望（　　）　⑧ 兵隊（　　）　⑨ 参加（　　）

⑩ 救助（　　）　⑪ 水道管（　　）　⑫ 博物館（　　）

⑬ 養魚場（　　）　⑭ 記念品（　　）　⑮ 悪天候（　　）

三十

つぎのかん字に、読みがなを書きなさい。（16点）

① 旧家（　　）　② 数訓（　　）　③ 態度（　　）

④ 判定（　　）　⑤ 筆舌（　　）　⑥ 百分率（　　）

⑦ 計略（　　）　⑧ 群衆（　　）　⑨ 構成（　　）

⑩ 点検（　　）　⑪ 天災地変（　　）　⑫ 衆議院議員（　　）

⑬ 大学教授（　　）　⑭ 眼科医院（　　）　⑮ 禁酒禁煙（　　）

⑯ 絶体絶命（　　）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

四十一

つぎのかん字の読み方で、正しいものを□でつつみなさい。[redacted]

- ㋐図書　とがき　としょ　ずしょ
- ㋑整理　せいり　せえり　しょうり
- ㋒期限　きかん　ごげん　きげん
- ㋓画家　がけ　がか
- ㋔以前　いぜん　いまえ
- ㋕工夫　こうお　こうふ

四十二

つぎのかん字に、読みがなをつけなさい。

①求める（　）　②栄える（　）　③殺　す（　）　④救　う（　）　⑤養　う（　）

⑥折　る（　）　⑦浅　い（　）　⑧低　い（　）　⑨浴びる（　）　⑩伝える（　）

四十三

つぎのかん字に、読みがなをつけなさい。

①預ける（　）　②犯　す（　）　③逆らう（　）　⑷耕　す（　）　⑸構える（　）

⑥除　く（　）　⑦絶える（　）　⑧授ける（　）　⑼採　る（　）　⑽得　る（　）

四十四

つぎの——せんのかん字に、読みがなを書きなさい。[redacted]

(1) 救助を求める。（　）　(2) 一日の生活を省みる。（　）

(3) 先生の話を伝えた。（　）　(4) しおが満ちる。（　）

(5) 赤味を帯びる。（　）　(6) 試合に敗れた。（　）

四十五

つぎの文中の（　）の中に、上のかん字の読みがなを書き入れなさい。[redacted]

(1) 書物をかき著（　）わした人を著者（　）という。

(2) 罪（　）を犯（　）すことを犯罪（　）という。

(3) 必要なものを設（　）けて、備（　）えつけることを設備（　）という。

(4) お金を預（　）けることを預金（　）という。

〔芦屋女子中〕

四十六

つぎの――線のかん字に、読みがなを書きなさい。（6点）

。毎月、貯金をしている。①
。わたしの家には北側にまどがある。②
。病気のあとで、養生がだいじだ。③
。ここは静かな地区である。④
。国語の試験が、よくできた。⑤
。工作をやっと完成させた。⑥

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

（6点）

四十七

つぎの――せんのかん字に、読みがなを書きなさい。

。図書室に新刊の本がはいった。①
。近くに公衆浴場ができた。②
。式が終わって、全員退場する。③
。発言はつつしむものだ。④
。ここで日程をかえた。⑤
。要点をかき条書きにした。⑥

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

（6点）

四十八

つぎの文の――をつけた漢字の読みをひらがなで（　）の中に書きなさい。（30点 2点）

(1) そんなことは分別（　）ある者のやることではない。
(2) かれは小児（　）なみの代金で、ふろにはいった。
(3) 首相（　）は、国会が終わって遊説（　）の旅に出た。
(4) はらがいたいといったら断食（　）を勧（　）められたので仮病（　）だといって断（　）わった。
(5) 精進（　）したかいあって、ついに大願（　）を成就（　）することができた。
(6) 何気（　）（　）に自（　）ない所作（　）（　）の中にも、かなり強引（　）（　）らを主張する人がらがうかがえる。

（愛光学園中）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

四十九

——せんのかん字に、読みがなを書きなさい。（8点）

① 山の下（　）を流れる川を下（　）って行くと、ダムがある。

② 南極（　）は、極楽（　）ではありません。

③ ちゅういされたら、直（　）ちに、直（　）すようにしなさい。

④ 父と競馬（　）を見に行った。競走馬（　）は、さすがにスマートだった。

五十

つぎの——せんのかん字に読みがなを、□の表に音くんべつに書きなさい。（17点）

。①飛行機て、大空を②飛んだ。　。③照明に④照らされた。

。わたしは、三人⑤姉妹のいちばん⑥妹です。

。ぼくは、⑦旗のうちでは、⑧国旗がいちばんすきです。

。小数のかけ算の、⑨位どりの⑩位置は、よくわかります。

。⑪続けて行なうことを⑫続行と言います。

。⑬息を休めることを、⑭休息と言います。

。⑮頭という字は、⑯頭部・⑰頭上などと使います。

五十一

つぎの——せんのかん字の読みがなを、□の中に書きなさい。

。世の中では、よく、①失敗は②成功の母だという。

。③夕飯がすんでから④折り紙を折って遊んだ。

。ぼくの⑤欠点を⑥反省して、それを日記に書いた。

。わたしのつくった⑦標語が⑧入賞した。

。⑨天候が悪くなると、⑩漁港はひっそりとする。

。⑪説明の⑫要点は、ノートに記録しておくのがよい。

。勉強をすすめるために、⑬参考書を買った。

。きょうは、⑭毛筆習字の勉強をした。

。夏休みにこん虫の⑮標本をつくった。

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

五十二.

つぎの――せんのかん字は、まちがっています。正しいかん字を（　）に書きなさい。

① おじさんに安内されて、交場の研学をしました。

② ぼくはまだ一月に五日位上、安んだことはない。

③ 体育のとき、機械運働をしました。百メートル競争もしました。もう少し早く走れたらと重いました。

④ 理化は、にが手で全前だめです。けれども社界はとくいです。

⑤ きょうから、全告交通安然週間です。

五十三

つぎの文には漢字の使い方のまちがいが一つずつあります。それに――をつけ下に正しい字を書きなさい。

(1) 正格（せいかく）に書く……□
(2) 算教（さんすう）の本……□
(3)「ははは」と泣（わら）う……□
(4) 乱動（らんぼう）をはたらく……□
(5) 一板（いちまい）の絵……□
(6) 人を訪門（ほうもん）する……□
(7) 因難（こんなん）な仕事……□
(8) 郵使（ゆうびん）をくばる……□
(9) 引（ゆみ）をいる……□
(10) 県長（けんちょう）のある町……□
(11) あかちゃんが鳴（な）く……□
(12) ごみを拾（す）てる……□
(13) 危剣（きけん）な橋……□
(14) 複習（ふくしゅう）をする……□
(15) すっかり亡（わす）れる……□

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

五十四

つぎの――線で結ばれたことばどうしで、反対語には①、対語(ついご)には②、類似語には③、同類語には④の記号をつけなさい。

（　）原因―結果　（　）予習―復習
（　）父―母　（　）進歩―向上
（　）不安―心配　（　）成功―失敗
（　）安全―危険　（　）往復―片道
（　）欠点―短所　（　）全体―部分

ヒント　「先生」と「生徒」は対語であり「忠告」と「忠言」は類似語である。また、「観測」と「測量」は同類語である。

五十五

つぎのじゅく語にかなをつけ、同音異義のものには○、同訓異義のものには△をつけなさい。

例（キョウギ）競技・協議　○

（　）性格・正確　□　（　）押す・推す　□
（　）打つ・討つ　□　（　）用意・容易　□
（　）行動・講堂　□　（　）完成・歓声　□
（　）生命・声明　□　（　）望む・臨む　□
（　）現わす・著わす　□　（　）消化・消火　□

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

五十六

つぎのことばの反対語を、あとのことばの中から選び、その記号を（　）の中に書きなさい。

①欠点（　　）　②倹約（　　）　③自然（　　）
④必然（　　）　⑤暗黒（　　）　⑥円満（　　）
⑦順調（　　）　⑧苦手（　　）　⑨偉大（　　）
⑩破壊（　　）　⑪輸出（　　）　⑫陰気（　　）
⑬合成（　　）　⑭困難（　　）　⑮否決（　　）

ア　可決　イ　輸入　ウ　不調　エ　美点　オ　光明
カ　平凡　キ　陽気　ク　得手　ケ　分解　コ　偶然
サ　人工　シ　不和　ス　容易　セ　浪費　ソ　建設

五十七

つぎの上のらんのことばの反対の意味のことばを選んで○印をしなさい。

(1)　安全　㋐困難　㋑平安　㋒危険　㋓心配
(2)　短所　㋐場所　㋑長所　㋒近所　㋓所在
(3)　平和　㋐講和　㋑戦争　㋒終戦　㋓和平
(4)　失敗　㋐完敗　㋑成功　㋒失望　㋓敗北
(5)　利益　㋐損害　㋑不利　㋒純益　㋓利用
(6)　単純　㋐不純　㋑単位　㋒複雑　㋓簡単
(7)　安心　㋐小心　㋑心配　㋒不安　㋓失心
(8)　未来　㋐将来　㋑過去　㋒来世　㋓去来

五十八

つぎのことばの反対語を、あとの（　）の中から選びかん字になおして記入しなさい。[redacted]

(1)肯（こう）定〔　　〕　(2)権利〔　　〕　(3)容易〔　　〕
(4)移動〔　　〕　(5)安全〔　　〕　(6)拡大〔　　〕

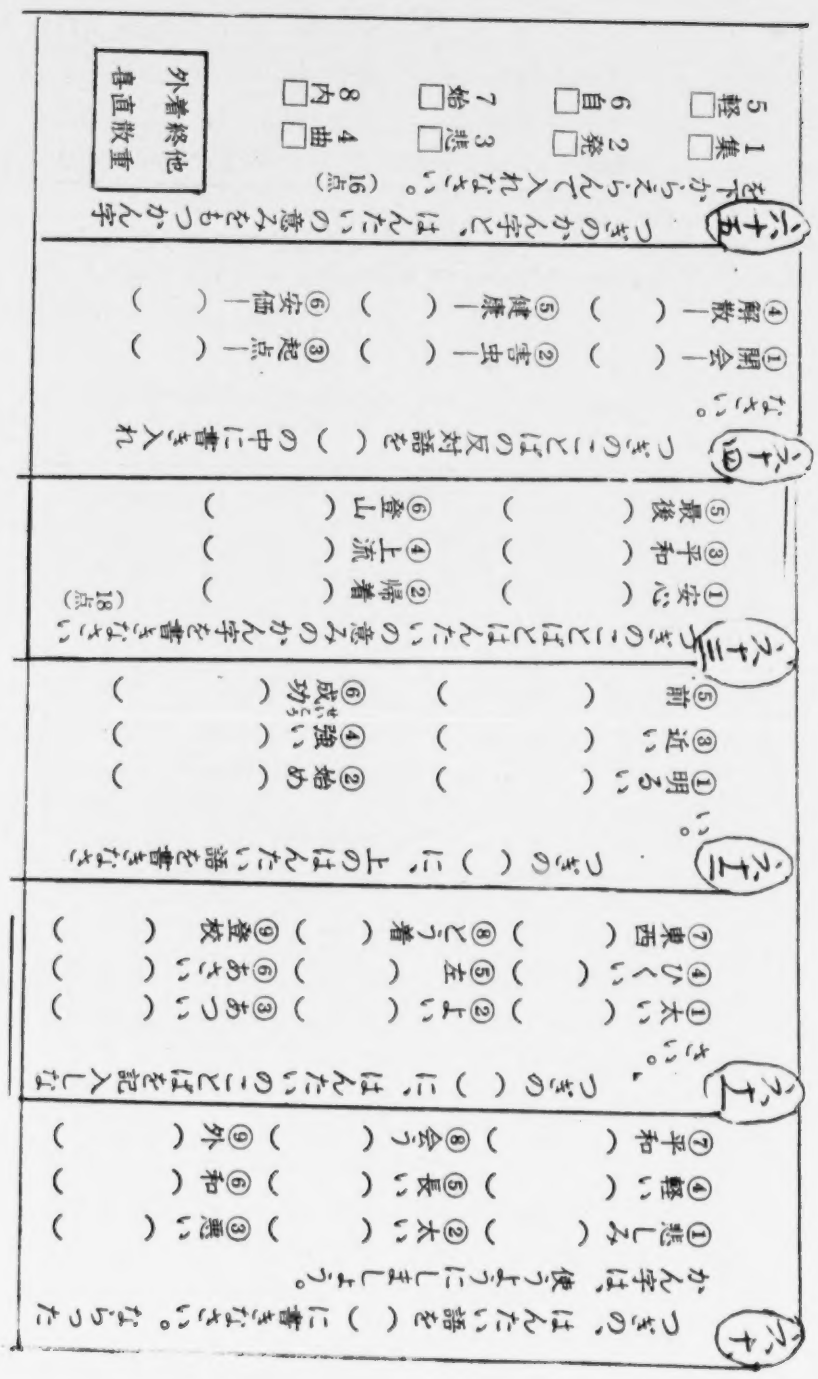
（コンナン・シュクショウ・キタイ・キケン・セイシ
ジツゲン・ショウリャク・ヒテイ・ギム）

〔海星女子学院中〕

五十九

つぎのはんたい語を（　）に書きなさい。[redacted]

①明るさ（　　）　②重さ（　　）　③あさい（　　）
④細い（　　）　⑤生まれる（　　）　⑥話し手（　　）
⑦すてる（　　）　⑧屋内（　　）



FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

六十 つぎの、はんたい語を（　）に書きなさい。ならったかん字は、使うようにしましょう。

①悲しみ（　　）②太い（　　）③悪い（　　）
④軽い（　　）⑤長い（　　）⑥和（　　）
⑦平和（　　）⑧会う（　　）⑨外（　　）

六十一 つぎの（　）に、はんたいのことばを記入しなさい。

①太い（　　）②よい（　　）③あつい（　　）
④ひくい（　　）⑤左（　　）⑥あさい（　　）
⑦東西（　　）⑧とう着（　　）⑨登校（　　）

六十二 つぎの（　）に、上のはんたい語を書きなさい。

①明るい（　　）②始め（　　）
③近い（　　）④強い（　　）
⑤前（　　）⑥成功（せいこう）（　　）

六十三 つぎのことばとはんたいの意みのかん字を書きなさい（18点）

①安心（　　）②帰着（　　）
③平和（　　）④上流（　　）
⑤最後（　　）⑥登山（　　）

六十四 つぎのことばの反対語を（　）の中に書き入れなさい。

①開会―（　）②害虫―（　）③起点―（　）
④解散―（　）⑤健康―（　）⑥安価―（　）

六十五 つぎのかん字と、はんたいの意みをもつかん字を下からえらんで入れなさい。（16点）

1集□ 2発□ 3悲□ 4曲□
5軽□ 6自□ 7始□ 8内□

外着終他
喜直散重

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

え十ろ、

つぎの意味にあたるじゅく語を選び、その記号を□に書き、読み方を（　）に書きなさい。

(1) あたまがいたいこと □（　　）
(2) むねのきんにくのこと □（　　）
(3) 広い場所のこと □（　　）
(4) じゃまになること □（　　）
(5) 責任をおうこと □（　　）
(6) 山のてっぺんのこと □（　　）
(7) 人をさばくこと □（　　）
(8) 仕事などをすること □（　　）
(9) すききらいのこと □（　　）
(10) わらい声のこと □（　　）

㋐広域　㋑頭痛　㋒笑声　㋓胸筋　㋔好悪
㋕頂上　㋖操業　㋗裁判　㋘負担　㋙障害

え十七

つぎのことばについて、同じような意みのことばを、下からえらんで、その記号に○をしなさい。（8点）

①ありさま—㋐たいへん　㋑すぐさま　㋒ようす　㋓ねえさま　㋔けれども
②たぶん　—㋐しばらく　㋑たくさん　㋒けっして　㋓おそらく　㋔そして
③うっすら—㋐めいめい　㋑いちいち　㋒おのおの　㋓まちまち　㋔ほんのり
④ずいぶん—㋐なにぶん　㋑さかんに　㋒とっても　㋓少し　㋔たぶん

え十八

つぎの〔　〕の中のことばに、いちばん近いことばを下の四つから一つだけ選んで○でかこみなさい。

①〔忠告〕——いさめる　しかる　おどす　悪口
②〔常に〕——かつて　たびたび　ふだんに　非常に
③〔勤勉〕——学校　努力　成功　幸福

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

六十九

つぎの下のだんには、上だんのことばの「いいかえ」が書いてあります。あてはまるものの記号を（　）の中に書きなさい。

①あざむく（　）　㋐大声でしかる
②いきどおる（　）　㋑人をうやまって自分をひくする
③おびえる（　）
④はかない（　）　㋒だます
⑤つかのま（　）　㋓まえから
⑥むさぼる（　）　㋔おそれてふるえる
⑦あらかじめ（　）　㋕はらをたてる
⑧ののしる（　）　㋖よくふかくものをほしがる
⑨わななく（　）　㋗たしかでない
⑩へりくだる（　）　㋘ちょっとの間
㋙こわがる

七十

上のらんのことばと、ほとんど同じ意味で使われているものを下のらんから一つ選び出して記号で答えなさい。

(1)以後―（　）　㋐以前　㋑以来　㋒以上　㋓前後
(2)永遠―（　）　㋐永久　㋑遠望　㋒永続　㋓永住
(3)外観―（　）　㋐直観　㋑外面　㋒主観　㋓外見
(4)気質―（　）　㋐同質　㋑木質　㋒気性　㋓気品
(5)区別―（　）　㋐区画　㋑区域　㋒特別　㋓差別
(6)賛成―（　）　㋐賛意　㋑反対　㋒同意　㋓完成
(7)静養―（　）　㋐静止　㋑休養　㋒栄養　㋓修養

七十一

上のだんのことばとよく似たことばが下にあれば、○をつけなさい。

①首府　ア首都　イ部首　ウ幕府
②未来　ア以来　イ将来　ウ来年
③病人　ア健康　イ患者　ウ病院
④立身　ア心身　イ出世　ウ独立
⑤日常　ア平素　イ通常　ウ日用
⑥改善　ア改札　イ改造　ウ改良
⑦同意　ア賛成　イ賞賛　ウ反対
⑧故国　ア国家　イ中国　ウ祖国
⑨進歩　ア新進　イ向上　ウ歩行
⑩自然　ア当然　イ自由　ウ天然

注意　③は病人と病院とを結びつけないこと。
⑧は故国と国家を結ばない。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

七十二

つぎと、同じような意みのことばを、下からえらんで記号を入れなさい。（6点）

①太陽（　）　②電燈（　）
③海路（　）　④決心（　）
⑤飛行場（　）　⑥発音（　）

㋐照明　㋑決意
㋒日輪　㋓航路
㋔空港　㋕発声

七十三

上のことばと同じ意みのことばを（　）からえらび、記号に○をしなさい。

(1)着物（㋐家屋　㋑乗り物　㋒衣服　㋓食物）
(2)道（㋐線路　㋑山道　㋒坂道　㋓道路）
(3)一番（㋐一級　㋑一等　㋒中級　㋓当番）
(4)室（㋐家　㋑台所　㋒へい　㋓へや）
(5)晴天（㋐雨天　㋑天空　㋒天下　㋓晴れ）

七十四

つぎの〔　〕の中のことばとよくにたことばを下から選んで○をつけなさい。

(1)〔未来〕―（㋐以来　㋑将来　㋒来年　㋓過去）
(2)〔主要〕―（㋐必要　㋑要領　㋒重要　㋓要件）
(3)〔改良〕―（㋐形式　㋑改善　㋒関心　㋓発達）
(4)〔必要〕―（㋐需要　㋑要求　㋒大要　㋓要点）
(5)〔不安〕―（㋐安心　㋑心配　㋒安全　㋓危険）
(6)〔進歩〕―（㋐発見　㋑進学　㋒発達　㋓退歩）
(7)〔自然〕―（㋐当然　㋑自由　㋒天然　㋓自在）
(8)〔同意〕―（㋐反対　㋑同然　㋒賞賛　㋓賛成）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

七十五

つぎのことばの意みの、正しいほうに○をしなさい。

(ア) 協力
1 たくさんの力
2 力をあわせること
3 つよい力

(イ) 屋外
1 家のそと
2 屋根の上
3 まどのそと

(ウ) 発着
1 てたりついたりすること
2 きたりぬいだりすること
3 てたりひっこんだりすること

七十六

つぎのことばの意みのよいほうに、○をしなさい。

① 直線
1 正直な線
2 まっすぐな線

② 利用
1 うまくつかう
2 用がある

③ 空港
1 からになった港
2 飛行場

④ 有名
1 名だかい
2 名まえがある

⑤ 植林
1 木を植えること
2 林を植えること

⑥ 遠洋
1 遠い国
2 遠い海

七十七

意みの正しいものに○をつけなさい。また、（　）の中に読みがなを書き入れなさい。（16点）

① 無事
(ア) かわりがないこと　（　　）
(イ) 心配なこと
(ウ) いみのないこと

② 要点
(ア) ひつようなこと　（　　）
(イ) 点があつまること
(ウ) だいじなこと

③ 変化
(ア) おばけのこと　（　　）
(イ) ものごとがかわること
(ウ) おかしいこと

④ 印刷
(ア) はんこのこと　（　　）
(イ) テストのプリント
(ウ) 紙などに文字をすりつけること

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

七十八

つぎのことばの意味として正しいものを選び○印をつけなさい。

(1)協力　㋐力をいれる　㋑力を合わせる　㋒力を強くする

(2)単身　㋐ただひとり　㋑ひとえもの　㋒ひとり者

(3)念願　㋐たのむこと　㋑ねがうこと　㋒感じること

(4)効果　㋐ききめ　㋑あとしまつ　㋒おしまい

七十九

つぎのことばに適したじゅく語を、うしろの中から選んで（　）の中に書きなさい。（10点各2）

①外国に行くこと。（　）
②勉強するのにいる費用。（　）
③病気のもとになるもの。（　）
④医者が病気をみてはんだんする。（　）
⑤他人の家で働きながら勉強する青年のこと。（　）

資本、学資、洋行、旅行、学生、書生、細菌、病原体、診断、判断

〔松蔭中〕

八十

上のことばの正しい意味をふ号で答えなさい。

(1)貴重（　）　㋐ひじょうにたいせつ　㋑ひじょうに重い　㋒ひじょうに美しいこと
(2)率先（　）　㋐他人より先に歩くこと　㋑いちばん先に行く人　㋒みんなの先にたってものごとをすること
(3)教養（　）　㋐教えたり養ったりすること　㋑他人を教えて育てること　㋒身につけた学問や知識
(4)観衆（　）　㋐見物している人々　㋑けしきを見る人々　㋒おおぜいの人々

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

八十一

つぎのじゅく語にかなをつけ、正しい意味を［　］の中から選んで、その記号を（　）の中に入れなさい。

以外（　）　意外（　）　異義（　）　意義（　）
検討（　）　見当（　）　形成（　）　形勢（　）
寒気（　）　歓喜（　）　期待（　）　機体（　）
解放（　）　開放（　）　演題（　）　遠大（　）
帰港（　）　紀行（　）　高価（　）　効果（　）

㋐そのほかに　㋑みこみ、めあて　㋒あてにしてまつ
㋓ひろく大きい　㋔ききめ　㋕演説のだいもく
㋖かたちづくる　㋗思いのほか　㋘よく調べる
㋙つめたい空気　㋚ときはなして自由にする
㋛たびの日記　㋜あけはなす　㋝船が港へ帰ってくる
㋞ねだんが高いこと　㋟ことがらのわけ　㋠よろこぶ
㋡ちがったぎろん　㋢ありさま、ようす
㋣飛行機のどう体

八十二

つぎのことばのわけの正しいものに○をつけなさい。

①くだけた人
㋐とっつきにくい人
㋑うちとけた人
㋒いつもふざけている人

②まゆをひそめる
㋐不快で顔をしかめる
㋑目をパチパチする
㋒おこってまゆをゆがめる

③けむにまく
㋐相手の気をうばう
㋑人をからかう
㋒けむりをふきつける

④たたずむ
㋐立つ
㋑しばらく立ちどまる
㋒立って待つ

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

八十三

つぎのことばのわけの中で、もっとも適当と思うものを一つ選んでその番号を○でかこみなさい。

(ア) 効果的に利用する
① ききめがあるように、うまく利用する
② あとになってから用いる
③ よい使いみちを考える

(イ) 水流を調節する
① 川の水を流れないようにとめる
② 水の流れを調べて、早く流れるようにする
③ 水の流れを、ぐあいのよいようにととのえる

(ウ) 明確な報道
① あきらかでたしかな知らせ
② はっきり聞こえる放送
③ 早くてよくわかるようなやり方

(エ) 不眠不休で働く
① 眠ったり休んだりして働く
② 眠らず休まずに働き続ける
③ 眠らないで旅行する

(オ) 常識のある人
① ふつうの人とちがった人
② むかしのことはなんでも知っている人
③ ふつうの人の持っている知識や考えを持っている人

八十四

つぎの意味で、かん字を使うときは、どちらを使いますか。いらないほうを＝せんでけしなさい。（5点）

① 心をそのことに集める。（注意・柱位）
② とりあげてつかう。（仕用・使用）
③ きちんと、かたづける。（正理・整理）
④ ニュースなどを印刷して配るもの。（新文・新聞）
⑤ 小さな病院のこと。（医院・位院）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

八十五

つぎの意みをあらわすことばを下からえらんで記号を入れなさい。（10点）

(1) 外国へ品物を売り出すこと（　）
(2) 重さや、かさ・長さなどをはかるもの（　）
(3) 同じなかまのもの（　）
(4) 書いて残しておくこと（　）
(5) みんなのかわりをつとめること（　）

㋐種族　㋑記録　㋒代表　㋓輸出　㋔計器

八十六

つぎのことばの意みの、よいほうに○をしなさい。（12点）

①遠ざかる
□—遠い坂のこと。
□—遠くなっていくということ。

②とりあわない
□—相手にしない。
□—とりにあわない。

③ひっきりなし
□—切りきずなどのないこと。
□—たえまがないこと。

④みすぼらしい
□—みなりがまずしい。
□—みすぼだろう。

八十七

つぎの文で、（　）の中のことばはどれがいちばんよくあっていますか。記号を○でかこみなさい。

(1) この本は小学生を（㋐対象　㋑対称　㋒対照）として書かれたものです。

(2) 産業の発達と交通（㋐期間　㋑器官　㋒機関）の発達とはたいへん深い関係があります。

(3) ほとんどの人がA君の意見に（㋐参政　㋑酸性　㋒賛成）しました。

(4) 週に一回ずつ発行される雑誌を（㋐週間　㋑習慣　㋒週刊）雑誌といいます。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

八十八

つぎの語くの意みで、よいものに○をしなさい。

①林の中へすいこまれて行った。
□林の中にすいこむものがいて、すいこむこと。
□林の中へはいって、見えなくなったこと。
②息を引きとってしまいました。
□死んでしまうこと。
□息子をかえしてもらうこと。
③人間とも、さるともつかない。
□人間の味方にも、さるの味方にもならないこと。
□人間かさるか、よくわからないこと。

④あっというまに、どこかへ行ってしまった。
□おどろいているうちに、いなくなること。
□みじかい時間のうちに、いなくなること。
⑤ぞう木林にそっておかをおりる。
□ぞう木林のそばを通って、おかをおりること。
□ぞう木林を切りながら、おかをおりること。

八十九

つぎにあげた三つの字の中から、左の各文の□にふさわしい漢字を選び、答えのらんに記号で書き入れなさい。（[redacted]）

(A) ㋐—教　㋑—驚　㋒—興
① きょうの先生のお話で、あすのクラス会はいつもよりいっそう□味深いものになるだろう。
② きのうの日曜日は、天気がよかったので、どこでも数年来にない□異的な人出を見たそうだ。

(B) ㋐—招　㋑—召　㋒—紹
① 学校の運動会では、例年、近所の小学校を□待して、対校リレーをやることになっている。
② 人を□介するときには、相手にその人については

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

九十

・（　）の中のような意味にあてはまることばを〔　〕の中に書き入れなさい。

(1)　何万という〔　　〕の見守る中を聖火は進んでいきました。（見物しているおおぜいの人々のこと）

(2)　それは、委員の人々にもっとよく〔　　〕してもらって決定することにしました。（ぎんみするという意味）

(3)　A君のうかつな発言のために〔　　〕な空気がただよった。（けわしいという意味）

(4)　B君は〔　　〕りっぱな態度でした。（初めから終わりまでという意味のことば）

(5)　C君はまったく〔　　〕のうちどころのない少年である。（少しも欠点がないという意味）

九十一

つぎの（　）の中のことばを読んで〔　〕にあてはまることばを書きなさい。

(1)　テストの点が、いつも妹より悪いので、〔　　　〕がせまい。
（はずかしいという意味のことば）

(2)　コロンブスは、アメリカ大陸を〔　　〕した。
（いちばん初めに見つけるという意味のことば）

(3)　また、あすも雨がふる〔　　〕。ラジオの天気予ほうによると。（はっきりはわからないが、人から聞いて言うとき使うことば）

(4)　きょうも雨が（　　　）と、ふっていました。
（つゆどきの雨のふるようすを、表わすことば）

(5)　春子さんは、根気よくあさがおの〔　　　〕を続けました。
（くわしくみる、よくみるという意味のことば）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

九十二

つぎのことばの中から、外来語を選び出して、かたかなに書きなおしなさい。

(1)ひらひら　(2)たばこ　(3)えんぴつ　(4)しゃんそん
(5)ちゃわん　(6)みしん　(7)はんかち　(8)わいしゃつ
(9)めりやす　(10)えのぐ　(11)ばらばら　(12)きりしたん
(13)こうちゃ　(14)ないふ　(15)せんべい　(16)ほうせんか

解答　(2)タバコ　(4)シャンソン　(6)ミシン　(7)ハンカチ
(8)ワイシャツ　(9)メリヤス　(12)キリシタン　(14)ナイフ

九十三

、つぎの、外国からはいってきたことばは、どれと同じでしょう。□からえらんで記号を（　）に記入しなさい。

①デパート（　）　②トラック（　）　③クイズ（　）
④クローバー（　）⑤スポーツ（　）　⑥ポスト（　）
⑦アメリカ（　）　⑧インフルエンザ（　）
⑨ライオン（　）　⑩チョーク（　）

㋐しし　㋑運動競ぎ　㋒百貨店　㋓ゆう便ばこ
㋔しろつめくさ　㋕流行せいのかぜ　㋖なぞなぞ
㋗はくぼく　㋘貨物自動車　㋙米国

九十四

つぎの外来語はどんな意味に使っていますか。下のらんから、あてはまるものを選んで記号で答えなさい。

(1)アイデア……（　）
(2)コントラスト…（　）
(3)ナンセンス……（　）
(4)マニヤ…………（　）
(5)メニュー………（　）
(6)ライバル………（　）
(7)センス…………（　）
(8)ポピュラー……（　）
(9)ルーズ…………（　）
(10)キャッチフレーズ（　）

㋐ちゅう告。　㋑あらすじ。
㋒だらしがない。
㋓こんだて表。㋔うたい文句。
㋕ものごとに熱狂（きょう）する人。
㋖考え。思いつき。
㋗無意見。たあいないこと。
㋘競争相手。㋙対照。対比。
㋚新人のこと。㋛うったえる。
㋜感覚。感じ方のするどさ。
㋝大衆（たいしゅう）的な。人気のある。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

2. Kanazukai

一、つぎの（　）の中に、送りがなを入れなさい。（[redacted]）

①
- ㋐ 学校から帰（　）ない。
- ㋑ 学校から帰（　）ました。
- ㋒ 「おそいから帰（　）。」
- ㋓ 「おそいから帰（　）う。」
- ㋔ 帰（　）ときのできごと。

②
- ㋐ 弟と歩（　）ます。
- ㋑ 歩（　）とき、自動車に気をつけて。
- ㋒ ならんで歩（　）うね。
- ㋓ いっしょに歩（　）ない人がいる。
- ㋔ 「さっさと歩（　）。」

二、つぎのかなつかいで正しいほうへ○をつけなさい。（[redacted]）

①
- ㋐ みかずきがでました。
- ㋑ みかづきがでました。

②
- ㋐ 東京へこづつみをおくりました。
- ㋑ 東京へこずつみをおくりました。

③
- ㋐ はなぢがでました。
- ㋑ はなじがでました。

④
- ㋐ ゆうべ、じしんがありました。
- ㋑ ゆうべ、ぢしんがありました。

⑤
- ㋐ 四つかどのところで、かぢがありました。
- ㋑ 四つかどのところで、かじがありました。

三、送りがなの正しいほうに○をつけなさい。（[redacted]）

①
- ㋐ 走る
- ㋑ 走しる

②
- ㋐ 苦しい
- ㋑ 苦い

③
- ㋐ 遊そぶ
- ㋑ 遊ぶ

④
- ㋐ 美しい
- ㋑ 美くしい

⑤
- ㋐ 集る
- ㋑ 集まる

⑥
- ㋐ 助ける
- ㋑ 助る

⑦
- ㋐ 食る
- ㋑ 食べる

⑧
- ㋐ 太い
- ㋑ 太とい

⑨
- ㋐ 送くる
- ㋑ 送る

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

四

つぎのことばの書きあらわし方のよいほうに○をつけなさい。

①いきもの　生物　生き物
②うけとる　受け取る　受取る
③うりだす　売出す　売り出す
④おもいだす　思い出す　思出す
⑤おりかえす　折返す　折り返す
⑥さげわたす　下わたす　下げわたす
⑦ただちに　直ちに　直に
⑧ながれこむ　流れこむ　流こむ
⑨ものしり　物の知り　物知り
⑩かきおわる　書き終る　書き終わる

ヒント 送りがなは**名詞にはふつうつけない。動きことば**の場合は、●印語尾（動くところ）「来る」から、送りがなをつける。また、「細かい」のようなことばのときには●●印のところから送りがなをつける。

五

つぎのそれぞれの組のことばで、正しいほうのかなづかいの記号に○をつけなさい。

①（ア ゆうびんきょく　イ いうびんきょく）
②（ア おおきな男　イ おうきな男）
③（ア 少しずつ　イ 少しづつ）
④（ア すずしそう　イ すずしそお）
⑤（ア おちさん　イ おじさん）
⑥（ア あじ　イ あち）
⑦（ア しづかに　イ しずかに）
⑧（ア ゆうがた　イ いうがた）
⑨（ア さやうなら　イ さようなら）
⑩（ア つくづく　イ つくずく）

六

つぎのことばで正しく送りがながつけられているものには○を、そうでないものには×をしなさい。

①（　）強よい。②（　）勝った。③（　）終わる。
④（　）行く。⑤（　）動く。⑥（　）上がる。
⑦（　）使かう。⑧（　）話し合。⑨（　）少ない。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

七

つぎのそれぞれの文の〔　〕の中で、正しい書きあらわし方をしているもののふ号を［　］でかこみなさい。

(1) みかんを一つ〔ア ずつ　イ づつ　ウ じち〕あげるから、かあさんの〔ア ゆう　イ えう　ウ いう〕〔ア どうり　イ どほり　ウ どおり〕の題で、文を〔ア つずり　イ つづり　ウ ちぢり〕なさい。

(2) ことしの冬は〔ア あたたかな　イ あたたかだ〕日が〔ア 続いて　イ 続づいて〕本〔ア お　イ を〕読むのがらくだったと〔ア お話し　イ お話〕した。

(3) 〔ア みかづき　イ みかずき〕が〔ア ちめん　イ じめん〕をてらしていた。

〔秋田大学芸学部付中〕

八

つぎのかん字の正しい読み方に○をつけなさい。

① 鼻血〔ア はなち　イ はなじ〕
② 火事〔ア かち　イ かじ〕
③ 水〔ア みづ　イ みず〕
④ 地面〔ア じめん　イ ちめん〕
⑤ 図画〔ア ずが　イ づが〕
⑥ 軸〔ア ちく　イ じく〕
⑦ 暗示〔ア あんじ　イ あんぢ〕
⑧ 大豆〔ア だいづ　イ だいず〕
⑨ 数〔ア かづ　イ かず〕
⑩ 地図〔ア ちづ　イ ちず〕
⑪ 小包〔ア こず　イ こづつみ〕
⑫ 味〔ア あち　イ あじ〕

九

つぎのことばの送りがなで、正しいものには○、ちがっているものには×をつけなさい。

① 新らしい　② 美しい　③ 変わる　④ 助ける
⑤ 悲なしい　⑥ 少くない　⑦ 答える　⑧ 送くる
⑨ 止った　⑩ 休む

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

3. Ko, so, a, do

一、「そこ」「この」「これ」「どんな」「あそこ」の五つのことばを（　）の中に合うように入れなさい。

(1) 一本のくすの木がありました。（　）力が（　）木にあったのでしょう。ひるもよるもぐんぐんのびていきました。

(2) はら、（　）に見えるのが東京タワーですよ。

(3) 百メートルばかりいったところに四つかどがあります。（　）を左にまがって、右側の三げんめがぼくの家です。

(4)（　）は、たしかにすばらしい、一まいの絵を見ておじいさんはしきりに感たんしています。

二、つぎの文の（　）に、ちょうどよいこそあどことばを入れなさい。

(1) あっ、ちょうどよいところでお目にかかりました。ごしょうかいしましょう。（　）が社長さんです。

(2) てんらん会を見るには、（　）入場けんがいります。一まいあげましょう。

(3) みんな見てごらん。テレビとうが見えるでしょう。（　）山が○○山です。

(4) モシモシ山下さんですか。何時にまいりましょうか。ハイハイ、では三時に（　）にまいりましょう。

(5) いらっしゃいませ。（　）さまでしょうか。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

㊂

つぎの文の（　）の中のことばは、どれがいちばんよいですか。よいものを選んで○印をつけなさい。

(1)(㋐どれ　㋑あれ　㋒どの)人にお金をわたしたの?

(2)(㋐あれ　㋑あちら　㋒どっち)が東にあたります。

(3)むかし城（しろ）があったのは(㋐ここ　㋑これ　㋒それ)です。

㊃

つぎの文の□の中にあてはまることばを、あとのらんから選んで書き入れなさい。一つのことばを二回使ってはいけません。

(1)点線のところをおりまげ、□にのりをつけます。

(2)車の部分をまるく切りぬいて、□にじくを通します。

(3)この機械は□にでもかんたんに動かせます。

(4)つぎに、はりがねを□ふうにまげます。

(5)きのう買ってもらったぼうしは□色でしたか。

(6)□だったら、うまく作りあげることができます。

(7)ほら、□に白い建物が見えるでしょう。□がわたしの学校です。

〔そこ・だれ・かれ・あそこ・どんな・その・それ・こんな・あれ〕

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

4. Particles

(一)

つぎの□の中に、あとからことばをえらんで入れなさい。同じことばを何回使ってもいいのです。

青い海のほとり□、おじいさん□おばあさん□くらしていました。ふたり□もう、三十三年□海のそばの古ぼけた小屋□住んでいるのでした。

おじいさん□あみでさかな□とり、おばあさん□一日じゅう糸□つむいていました。

を・は・に・と・も・が

(二)

つぎの文の（　）にあてはまることばを、あとからえらんで、その記号を記入しなさい。

① ある養魚場（　）おこったできごとです。
② それ（　）ある地下鉄駅で（　）できごとだ。
③ おかあさんも、それ（　）さんせいした。
④ それは、三千年（　）むかしの話だ。

(ア)の	(イ)に	(ウ)は	(エ)で	(オ)も	(カ)を

(三)

（　）にあてはまることばを、あとからえらんで記号で書き入れなさい。

① 歩き（　）本を読む。
② 形もいい（　）、色もいい。
③ どんなにしかられ（　）、やめようとしない。
④ なんべんもあやまった（　）ゆるしてくれない。
⑤ 寒い（　）オーバーを着て行こう。

(ア)から	(イ)ても	(ウ)し	(エ)のに	(オ)ながら

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

四

つぎの(1)〜(5)の文のうち——線の部分はどんな気持ちをあらわしていますか。左の中から選んでその番号を答えのらんに書きなさい。（[redacted]）

(1) 何をさしあげましょうか。
(2) くわしく教えてくださいませんか。
(3) みんなでさがそうではないか。
(4) そんなばかなことがあるものですか。
(5) もちろんほんとうの話だとも。

㋐念をおしている。
㋒おどろいている。
㋔さそっている。
㋖強めている。
㋘感心している。

㋑たずねている。
㋓残念がっている。
㋕命令している。
㋗たのんでいる。
㋙言っていることと、反対の意味をさしている。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

〔東海中〕

五

つぎの文中の「て」の使い方の中で、下にあげた例文の「て」と同じ性質のものがあれば（　）の中に記号で答えなさい。（[redacted]）

①長男は先生で弟は警官（けいかん）だ。（　）
②いつもほがらかでにこにこしている。（　）
③雪をけんび鏡で調べる。（　）
④校庭でテストする。
⑤祖父が新聞を読んでいらっしゃる。（　）

㋐病気で欠席した。
㋑水を飲んで元気になった。
㋒この教室はいつも静かでよい。
㋓「りっぱな人間であれ」と願う。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

六

つぎの文中の○○の中にてき当なことばを、ひらがなで書き入れなさい。

(1) けっしてご恩はわすれま○○。
(2) まさかそんなことはある○○。
(3) どうかみな様によろしくお伝え○○○○。
(4) うれしさのあまり、わたしはとん○○、はね○○しました。
(5) たとえ雨○○行きましょう。
(6) 何どぞおゆるしくだ○○○○。
(7) まさか、ぼくがしたとは思う○○。
(8) たとえ悪く言○○○○、わたしは考えをかえないつもりだ。
(9) かれは、学級委員だもの、まさかそんなことはし○○○○○。

〔東大谷中〕

〔大阪星光学院中〕

七

つぎのABCDEの文の――と同じ使い方をしたものを、選び、[illegible]。

A この本はおもしろいな。
1 ひとりもにがすな。　2 はやく旅行に行きたいな。
3 この鳥げきをわすれるな。

B いたずらをするからしかられるのだ。
1 学校から帰るのは三時ごろです。
2 道がけわしいからほねが折れる。
3 あしたから当分休みます。

C 種をまくとかわいい芽を出した。
1 筆と紙とをください。　2 午後に行けると思います。
3 その本を読むとすぐわかる。

D かれは英語が話せる。
1 雨はふるが風はない。　2 勉強するのがすきです。
3 雨のふるほうが静かでよい。

E わたしの本を知りませんか。
1 そんなに早く行けますか。
2 いや、そんなことがあるものか。
3 なるほどそういうわけでしたか。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

八　つぎの□の中に、へ・え・お・を・は・わを入れましょう。（11点）

① ぼく□、□かあさんのいいつけ□よくまもります。
② □とうさんと□にいさんとが旅行□します。
③ に□そうじ□、ぼくのしごとです。
④ □き前のデパート□かいものに行きました。

九　つぎの（　）にあてはまることばを、あとの□からえらんで記入しなさい。（16点）

わたしの妹（　）、もっとすなおだ（　）よいのだ（　）、わがままだ（　）、ほめる（　）つけあがる（　）、しかれ（　）ない（　）、まったくこまりものだ。

し、が、て、ば、から、と、は

十　・つぎの（　）に、よいことばをあとからえらんで入れなさい。

① 雨がふった（　）道がぬかるんでいる。
② こんなに風がふく（　）よく来ましたね。
③ どんなにおし（　）戸はあかなかった。
④ 勉強はした（　）成績はよくならなかった。
⑤ 雪はふる（　）風も強い日でした。
⑥ 秋が来る（　）にわのかきがまっかになる。
⑦ 運動し（　）勉強したりする。

(ア)が　(イ)し　(ウ)たり　(エ)ので　(オ)のに　(カ)ても
(キ)も　(ク)や　(ケ)と

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

5. Conjunctions

㊀　つぎの文の□の中に、あとのらんのことばからもっともてき当なものを選んで記号で書き入れなさい。

(1) A君は運動もうまいし、□成績もよい。
(2) 妹は石につまづいてころんだ。□、泣かなかった。
(3) 昨夜はひどい雨だった。□道はさほど悪くない。
(4) 雨がひどくなった。□風が出てきた。
(5) まず、マッチをする。□、ガスのせんを開く。
(6) 昨夜はねたのがおそかった。□けさはねむい。
(7) かきが、こころし初めてみのった。□、実は少ない。

㋐そして　㋑それで　㋒そのうえ　㋓しかし

㊁　つぎの□の中に、うしろに出ていることばの中から適当なものを選んで書き入れなさい。同じことばを二度使ってはいけません。（15点各3）

(1) それもよいが、□こっちのほうがよい。
(2) それはそうです。□わたしも賛成しました。
(3) 動物園へ行きましょう。□象を見ましょう。
(4) あなたが来た。□待っていたようにみんな集まってきた。
(5) 昨日は雨でした。□一日じゅう家で本を読んでいました。

では、ですから、すると、しかし、それで、ですが、そして

〔四天王寺学園中〕

㊂　つぎの□の中に、あとからことばをえらび、その記号を書きなさい。（9点）

ちょっと形の変わったげきですから、ことばや動作によく気をつけてください。

①□これまでにも、げきは、いくつか勉強してきました。②□げきをするとき、げきを見るとき、どんな点をつかめばよいかなどは、あまり考えなかったでしょう。

③□そんなところまで考えて、げきの勉強をしていくのです。

㋐ こんどは　㋑ ところで　㋒ しかし

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

四　つぎの（　）の中のことばで、いちばん正しいものを選び、その記号に　をつけなさい。

(1)かれは歌がうまい。｛(ア) だから　(イ) しかし　(ウ) そのうえ｝絵もよくかく。

(2)待っている｛(ア) から　(イ) ので　(ウ) のに｝来もしない。

五　つぎの文の（　）に、あとのことばからよくあてはまるものをさがして入れなさい。（12点）

(1) あすは、ノートか（　　）手帳を持って来なさい。

(2) 国語のおさらいをすまし、（　　）遊びに行った。

(3) みな子さんは、からだも大きいし（　　）力もつよい。

(4) けいたくんはいつもまじめにそうじをする。（　　）よく先生にほめられる。

(5) 空がくもっていたので、かさを持って来た。（　　）雨はふらなかった。

(6) さあ算数をはじめましょう。（　　）なんページからでしたかね。

だから・ところで・それから・そのうえ・
または・けれども

六　つぎの（　）にあてはまることばを、あとかららんで入れなさい。

① きょうは遠足です。（　　）リュックすがたです。

② よいお天気です。（　　）かさはいりません。

③ 父にしかられました。（　　）なきはしませんでした。

④ 悪いことばはいけません。（　　）ぼくはつい、使ってしまいます。

⑤ ろうかを走ることは悪いことです。（　　）つい、走ってしまいます。

けれども　ですから

6. Idioms and Expressions

一

つぎの□に、頭・顔・首・目・鼻・口・手・腹・腰・足の中から適当なものを選んで書き入れなさい。

また、うしろにあげてある語句の中にあてはまるものを記号で（　）に書きなさい。

(1) □をぬく……（　）　(6) □につく……（　）

(2) □をつっこむ…（　）　(7) □にあまる……（　）

(3) □が黒い……（　）　(8) □をあらう……（　）

(4) □をあげる……（　）　(9) □にのる……（　）

(5) □が低い……（　）　(10) □がたつ……（　）

ア いやになる　イ やめる　ウ 見ておられない

エ 悪だくみがある　オ やるべきことをやらない

カ 認められる　キ 関係する　ク だまされる

ケ あいそがよい　コ 面目がたつ

ヒント 慣用語であるが、ずいぶんよく使われていることばであるから、学習事典や参考書で調べておくと、すぐ解ける。

二

上のことばの意みを（　）の中からえらびなさい。（10点）

(1) 鼻にかける（ア めがね　イ じまんする　ウ くやしい）

(2) 首をひねる（ア 首をまげる　イ 考える　ウ まよう）

(3) 手をやく（ア やけど　イ こまる　ウ かんたん）

(4) 足を出す（ア ぎょうぎが悪い　イ 予算以上に使う）

(5) 目がまわる（ア いそがしい　イ 苦しい　ウ 楽しい）

三

つぎのことばの中で、「はら」であざわらった」のはらと同じ意味を示すものを選んで、その記号に○をしなさい。

ア はらが治まる　イ はらをいためる

ウ はらをさぐる　エ はらがへる

（修道中）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

四

辞典でくちのところをひくと、つぎのようにたくさんの意味がありました。あとの文の中で使われているくちは、どの意味で使われていますか。てき当と思うものの記号を、それぞれの文の〔　〕の中に書きなさい。

《「くち」の意味》①目、鼻などとならぶ顔面の一部。②いうこと。あるいはことば。③出入りするところ。④ものを出し入れするところ。またはせん、ふたの意。⑤ものごとのはじまり、さいしょ。

(1)〔　〕まだよいのくちだ。(2)〔　〕あの人はくちが軽い。(3)〔　〕ちょっと戸ぐちまで来てください。(4)〔　〕びんのくちをあけてください。(5)〔　〕大きなくちをあけてねる。〔園田学園中〕

五

つぎの上のらんの文に使ってある「手」の意味は下のらんのどれにあたりますか。記号で答えなさい。

(1)手ならいをする…………（　）㋐方向または方角
(2)なべの手がとれた………（　）㋑方法や手だんのこと
(3)行く手に高い山が見える（　）㋒うでまえのこと
(4)手がたりない……………（　）㋓字を書くこと、習字
(5)あの手この手を使う……（　）㋔働く人のこと
(6)練習したので手があがった（　）㋕持つところ

注意 同じことばでもちがった意味に使うことがあります。**使いわけ**をはっきりとらえましょう。

六

つぎのことばは、下のらんのどのことばにつながりますか。――で結びなさい。

(1)耳をそばだてて・　・㋐引かれる
(2)うしろがみを・　・㋑ひそめる
(3)まゆを・　・㋒見えない
(4)人っ子ひとり・　・㋓さがす
(5)血まなこで・　・㋔とび上がる
(6)うわの空で・　・㋕食べる
(7)根ほり葉ほり・　・㋖聞く

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

㊆ つぎの上のらんのことばの意味を下のらんからさがして（　）の中に記号で答えなさい。

(1)かぶとをぬぐ　（　）
(2)耳をかたむける（　）
(3)さじをなげる　（　）
(4)きもを冷やす　（　）
(5)顔にどろをぬる（　）
(6)折り紙をつける（　）
(7)手のうらをかえす（　）

㋐だいじょうぶだと保証する
㋑ひどくびっくりすること
㋒注意を集めてよく聞くこと
㋓こうさんすること
㋔わずかの間にかわってしまう
㋕はじをかかせること
㋖見こみがないとあきらめる

注意 ここにあることばは、慣用語です。その字の意味だけであることは、まずありません。どんな場合に使うか、読みなれましょう。

㊇ つぎのことばと、同じ意みのことばを〈[redacted]〉からさがして、（　）に、その記号を入れなさい。

(1)（　）ぐちをこぼす
(2)（　）首をかしげる
(3)（　）歯がたたない
(4)（　）思ったとおり
(5)（　）はかない

㋐ たよりない
㋑ かなわない
㋒ あんのじょう
㋓ 変だと思う・考える
㋔ なきごとを言う

㊈ つぎの上のらんのことばは、下のらんのどのことばにつながりますか。記号で答えなさい。

(1)とほうに（　）㋐集まる　㋑くれる　㋒走る
(2)きつねに（　）㋐つままれる　㋑追われる　㋒乗る
(3)かたみが（　）㋐おりる　㋑せまい　㋒こる
(4)小くびを（　）㋐かしげる　㋑なでる　㋒切る
(5)白い目で（　）㋐とじる　㋑あらう　㋒見る
(6)ぐちを　（　）㋐あける　㋑こぼす　㋒結ぶ

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十

つぎの上たんのことばの意味を下だんからさがして（　）の中にその番号を書き入れなさい。

(ア)（　）油を売る　①なまける
(イ)（　）耳をかたむける　②仕事が細かい
(ウ)（　）手がこむ　③よく聞く
(エ)（　）目をかける　④世話をする

注意　①②③④は覚えておく。

十一

つぎに腹と関係のあるいい方を集めました。あとにあげた意味に使われるものを選んで、その記号を答えのらんに記入しなさい。

(ア)腹の皮をよじる　(イ)腹八分　(ウ)自腹をきる
(エ)腹の虫がおさまらない　(オ)腹をわって話す
(カ)背に腹はかえられない　(キ)腹が太い　(ク)腹をきる
(ケ)腹を見すかされる　(コ)腹に一物ある

(1) 自分の気持ちをすっかりさらけだす。……（　）
(2) つまらないことにこせこせしない。……（　）
(3) 今の場合そうするよりしかたがない。……（　）
(4) 自分の考えていることをさとられてしまう。……（　）
(5) ひかえめにものごとをする。……（　）

（漢字）

十二

つぎのことばは、どんな意みで使われていますか。（　）に書きなさい。

(1) 血まなこになる。（　）
(2) やぶからぼう。（　）
(3) 耳にたこができる。（　）
(4) にえきらない。（　）
(5) へらず口。（　）
(6) 鼻にかける。（　）

十三

つぎの語くの意みで、よいものに○をしなさい。

①冷たい人
- □手や足が冷たい人のこと。
- □なさけぶかくない人のこと。
- □体温がひくい人のこと。

②手にあまる
- □手にもつということ。
- □いっぱいということ。
- □しまつがつけられないこと。

十四　つぎの□の中に、「あたま・かお・くび・め・はな・くち・て・はら・こし・あし」など、からだにかんけいあることばを入れ、（　）に、下の意みのあてはまるものの記号を入れなさい。[redacted]

(1)□をぬく……（　）
(2)□につく……（　）
(3)□にのる……（　）
(4)□をつっこむ…（　）
(5)□にあまる……（　）
(6)□がつぶれない（　）
(7)□がたかい……（　）
(8)□がくろい……（　）
(9)□をあらう……（　）

㋐　いやになる
㋑　やめる
㋒　わるだくみがある
㋓　かんけいする
㋔　じまんする
㋕　だまされる
㋖　めんぼくがたつ
㋗　やるべきことをやらない
㋘　見ておられない

十五　つぎのことばの意味にあてはまるものをあとのらんから選んでその記号を記入しなさい。

(1)気がおけない（　）　(2)寒心にたえない（　）
(3)まゆを開く　（　）　(4)尾を引く　（　）
(5)手に落ちる　（　）　(6)話に花がさく　（　）
(7)歩がわるい　（　）　(8)かたで風を切る（　）

㋐おそれてぞっとすること。　㋑その人のものになる。
㋒さっそうといばっている。　㋓わりがわるい。
㋔それからそれへと話がはずんで発てんすること。
㋕ものごとのなごりがあとあとまで残ること。
㋖心配ごとがなくなって晴れ晴れすること。
㋗気がねがないこと。　㋘もっともよく似ている。
㋙世間に対してめんぼくがなく、はばかられる。

要[illegible]を覚えておきましょう。

十六　つぎのことばの――線をひいた部分は、あとの意味のどれにあたりますか。記号で答えなさい。[redacted]

(1)声をころした……（　）
㋐命を絶つ。　㋑死なせる。　㋒おさえとどめる。
㋓役に立たなくなる。　㋔アウトにする。
(2)声をつぶす……（　）
㋐おさえつけこわす。ぺちゃんこにする。
㋑ほろぼす。　㋒だめにする。
(3)知っている人がない……（　）
㋐わかる。さとる。㋑気がつく。㋒つきあいがある。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十七　つぎの見出しのことばを、正しく使ってある文を①/③の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号に○をつけなさい。[redacted]

(ア)たんねんに
①わたしは雨がふるのをたんねんにながめました。
②わたしは新聞をすみからすみまでたんねんに読みました。
③わたしは先頭をたんねんに走りました。

(イ)ひっきりなしに
①朝からばんまでひっきりなしに雪がふった。
②かれはひっきりなしに働いています。
③このあたりは人通りもなく、ひっきりなしにさびしい。

(ウ)ようしゃなく
①からだが小さいのでようしゃなく負けた。
②太陽はようしゃなくギラギラと照りつけた。
③なにもようしゃなく旅に出たので旅先でたいへんこまった。

(エ)効果
①自分でできるだけの効果をつくりました。
②おじさんの家のとこのまには、りっぱな効果がかけてある。
③薬の効果があったのか、熱がさがりました。

(オ)補給
①おとうさんが今月の補給をもらって帰られました。
②雨がたくさん補給したので、道が悪くなった。
③ヘリコプターで食糧を補給しました。

〔広島大付属東雲中〕

十八　つぎの（　）の中に、あとからことばをえらび、その記号を書きなさい。[redacted]

① うすぐらい森の中に（　）太陽の光りがさしてくる。
　㋐ おだやかに　㋑ かすかに
② （　）便利なものはひとりでにスイッチがきれることだ。
　㋐ さらに　㋑ きっと
③ 海にいこうと、（　）すすめられた。
　㋐ わずかに　㋑ しきりに
④ きのうの雨で、にわのしばふが（　）ぬれている。
　㋐ しっとりと　㋑ すっかりと
⑤ すずしい風が（　）ふいてきて、とても気持ちがよい。
　㋐ さっさと　㋑ そよそよと

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十九

つぎの文の〈　〉内のことばのうち、もっとも適当と思うものを、それぞれ一つずつ選びなさい。

濃い青空には、春の国から生まれて来たかと思われる白雲が山のふところから①〈ア ぽっかり　イ うっかり　ウ ちゃっかり〉顔を出す。

②〈ア ささやかな　イ やわらかな　ウ すこやかな〉日ざしが窓いっぱいふりそそぐ。

緑先の雪が③〈ア うららかな　イ かすかな　ウ たからかな〉音をたててくずれる。

風は④〈ア また　イ もう　ウ まだ〉うすら寒い。⑤〈ア けれども　イ だから　ウ そして〉家々の窓も障子もいっせいにあけはなたれた。

ヒント ことばの意味の問題には、一つのことばの意味をいくつも書いて、その中から正しいものを選ばせる問題がたいへん多い。**早がてんしないで、ゆっくり読んでから**○じるしをつけることがたいせつである。

二十

つぎのことばのわけを（　）の中から選んで○をつけなさい。

1、血まなこ
　ア いちばん早く走ること
　イ まじめに勉強すること
　ウ いっしょうけんめいになること

2、みどり子
　ア 緑色をしたこども
　イ 四、五才までのこども
　ウ 小学校六年ぐらいのこども

3、やぶから ぼうに
　ア のろのろとしごとをすること、
　イ 大きな声で話すこと。
　ウ 思いがけないことがおこること

二十一

つぎのことばは、下のどの語をたとえるものとして、もっともよいでしょうか。下のよいものをえらんで（　）にその記号を書きなさい。

(1) りんごのような（　　）　1 寺　2 まゆ
(2) もみじのような（　　）　3 ひげ　4 荷物
(3) かみなりのような（　　）　5 手　6 ほお
(4) 三日月のような（　　）　7 足　8 うで
(5) 山のような（　　）　9 歌　10 声
(6) はりがねのような（　　）
(7) まつの木の根のような（　　）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

7. Proverbs

(一)

つぎに名高い「ことわざ」が十句あげてあります。○の中にあとにあげた五つの種類の番号を入れなさい。[redacted]

(ア)○朱にまじわれば赤くなる。
(イ)○七ころび八起き。
(ウ)○ほねおり損のくたびれもうけ。
(エ)○人をみたらどろぼうと思え。
(オ)○かせぐに追いつくびんぼうなし。
(カ)○雨だれ、石をうがつ。
(キ)○はりのあなから天のぞく。
(ク)○かべに耳あり、しょうじに目あり。
(ケ)○論よりしょうこ。
(コ)○負けるが勝ち。

①用心するように教えたもの。
②努力するように教えたもの。
③にんたいするように教えたもの。
④悪い友だちと遊ばないように教えたもの。
⑤その他

〔広島大付属中〕

(二)

つぎのことわざのわけが（　）の中に書いてあるが正しいと思うものには○、まちがっていると思うものには×をつけなさい。

①子どもは風の子（　　）（こどもはよくかぜをひくから気をつける）
②時は金なり（　　）（時間は金のようにたいせつなもの）
③ぬかにくぎ（　　）（どんなに注意してもききめがない）
④急がばまわれ（　　）（急ぐときにはあちこちとびまわれ）
⑤けがの功名（　　）（思いもしなかったてがらをたてる）
⑥五十歩百歩（　　）（五十歩か百歩を元気で歩け）
⑦ねこをかぶる（　　）（ねこをせなかにせおう）

注意　格言なども、はいっているのでそれを知ること。

(三)

つぎのことわざの○の中にあてはまる語を下から選んで(ア)〜(オ)の記号で書き入れなさい。 [redacted]

(1)とらぬ○の皮さんよう。 …… ( ) (ア)うまこ

(2)火中に○を拾う。 …… ( ) (イ)ねこ

(3)能ある○はつめをかくす。 …… ( ) (ウ)たぬき

(4)○かぶる。 …… ( ) (エ)たかり

(A)力のあるものは、むやみに実力をあらわさない。

(B)本性を包みかくして、知らん顔をすること。

(C)きけんをおかして行なうこと。

(D)きまってもいないしよう来をあてにする。〔関西学院中〕

(五)

つぎのことわざの正しい意味を下のらんから選んで、記号で答えなさい。

(1)泣き面にはち ( ) (ア)ききめがうすいこと。

(2)音頭をとる ( ) (イ)悪いことが起こっているところへさらに悪いことが重なること。

(3)焼け石に水 ( ) (ウ)手近なことは案外わからない。

(4)燈台もと暗し ( ) (エ)用心の上にも用心すること。

(5)石橋をたたいてわたる ( ) (オ)大せいをみちびくこと。

(六)

つぎの①から⑤までのことわざと同じ意味をもつことわざを下の(ア)から(オ)までの中から選び、その記号を( )の中に書き入れなさい。 [redacted]

①さるも木から落ちる ( ) (ア)弱りめにたたりめ

②朱に交われば赤くなる ( ) (イ)火のない所にけむり

③後かいは先にたたず ( ) (ウ)弘法も筆のあやまり

④まかぬ種ははえぬ ( ) (エ)人は善悪の友による

⑤なまっつらにはち ( ) (オ)ころばぬ先のつえ

〔高輪中〕

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

㊅　上のらんのことわざと、意味のにかよったものを下のらんから選んで、記号を書き入れなさい。

(1) さるも木から落ちる…（　）㋐弱りめにたたりめ
(2) 念には念を入れよ　…（　）㋑こうかいは先に立たず
(3) ころばぬさきのつえ…（　）㋒弘法（こうぼう）も筆のあやまり
(4) 月とすっぽん…………（　）㋓とうふにかすがい
(5) なきつらにはち………（　）㋔つりがねにちょうちん
(6) ぬかにくぎ……………（　）㋕石橋をたたいてわたる
(7) まかぬ種は生えぬ……（　）㋖火のない所にけむりはたたぬ

㊆　つぎのことわざは、どんな意味ですか。正しいものに○をつけなさい。

① 急がばまわれ
- ㋐急ぐときは目が回るようにいそがしい。
- ㋑急ぐときはきけんな近道よりも、安全なまわり道を通ったほうがかえって速い。

② さるも木から落ちる
- ㋐ゆだんすると失敗するということ。
- ㋑さるが木からすべり落ちること。
- ㋒さるを木の上からたたき落とすこと。

③ かべに耳あり
- ㋐かべに耳をおしつけて聞くこと。
- ㋑かべにマイクロホンをとりつけること。
- ㋒ないしょのつもりでも、もれる。

㊇　つぎのことわざの（　）の中にあとの□の中から、ことばを選んで、正しく書き入れなさい。

① 千里（せんり）の道も（　　）よりはじまる
② ちりもつもれば（　　）となる
③ 立つ鳥は（　　）をにごさず
④ 火のない所に（　　）はたたぬ
⑤ 二階から（　　）ぐすり

目　あと　山　けむり　力　火事　一歩　たすき　花　上

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

㊈

上のことわざと、同じ意みの下のことばを――せんで、むすびなさい。

①石の上にも三年・　　・(ア)失敗にくじけない。
②七ころび八起き・　　・(イ)しんぼうがたいせつ。
③なきつらにはち・　　・(ウ)あきやすい。
④うり二つ　　　・　　・(エ)よくにている。
⑤三日ぼうず　　・　　・(オ)悪いことが重なる。

㊉

上のことわざと、同じものを下からさがし、その記号を（　）に記入しなさい。[redacted]

①（　）急がばまわれ　　(ア)おとなしそうにみせかける
②（　）五十歩百歩　　(イ)人はそれぞれにちがう
③（　）十人十色　　(ウ)あまりちがわない
④（　）ねこをかぶる　　(エ)あせってはいけない

⑪

つぎのことわざの□の中に漢字、○の中にかなを書き入れて、まとまったことわざにしなさい。[redacted]

(1)　正直は一生の□　　(2)　暑さ寒さも○○○まで
(3)　○○○をすればかげとやら
(4)　□起きの家には福きたる
(5)　わが□をつねって人のいたさを知れ

⑫

つぎの（　）の中に数字をあらわすかん字を一字記入して、かん全なことばをつくりなさい。[redacted]

(1)（　）石二鳥。　　(2)石の上にも（　）年。
(3)（　）差万別。　　(4)（　）里の道も一歩から。
(5)（　）年ひとむかし。　　(6)（　）人よれば文殊（もんじゅ）の知恵（ちえ）。
(7)三三五（　）。　　(8)（　）聞は一見にしかず。
(9)（　）まい舌（じた）を使う。
(10)一寸の虫にも（　）分（ぶ）のたましい。

〔愛光学園中〕

一、つぎの文で、ていねいないい方のじゅんに、番号をつけなさい。[redacted]

(ア)
□先生がおいでになりました。
□先生が来ました。
□先生がいらっしゃいました。

(イ)
□学校に行った。
□学校にいらっしゃいました。
□学校に行きました。

二、常体の文にはA、敬体の文にはBの記号を（　）の中に入れなさい。

①（　）わたしは、勉強をしていた。
②（　）わたしは、本を読んでいました。
③（　）雨は、すっかりやみました。
④（　）雨は、すっかりやんだ。

解答 ①はA、②はB、③はB、④はAであろう。文の終わりのことばを見ればすぐわかる。「いた」「やみ」が常体であり、「いました」「やみました」が敬体である。

三、つぎの〔　〕の中の、正しいほうに○をしなさい。[redacted]

(1) ごめんください。〔㋐父 ㋑おとうさん〕は、〔㋒おるす ㋓るす〕ですか。どこへ〔㋔行った ㋕行かれた〕のですか。

(2) 〔㋐おとうさん ㋑父〕は、さんぽにでかけたのですが、まだ〔㋒帰りません ㋓お帰りになりません〕。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

四

つぎの〔上〕のらんはふつうの言い方、〔中〕のらんは尊敬したいい方、〔下〕のらんはへりくだった言い方です。「する」の例にならって関係のあることばを〔中〕と〔下〕のらんからさがし、記号で書きなさい。

	〔上〕	解答らん 〔中〕	〔下〕
1	する	イ	Ⓐ
2	言う		
3	見る		
4	会う		
5	行く		
6	取る		

〔中〕	〔下〕
ア おっしゃる	Ⓐ いたす
イ なさる	Ⓑ 拝見する
ウ おいでになる	Ⓒ 申しあげる
エ お会いになる	Ⓓ 参る
オ ごらんになる	Ⓔ お目にかかる
カ お取りになる	Ⓕ お取りする

五

つぎのことばを、例にならって、ふつうのいい方になおしなさい。

例 おぼしめす――（思う）
おてがみ――（てがみ）

(1) お出かけになる ――（　　）
(2) 申します ――（　　）
(3) うけたまわる ――（　　）
(4) おさとう ――（　　）
(5) 夏です ――（　　）
(6) いただく ――（　　）
(7) めしあがる ――（　　）
(8) いらっしゃる ――（　　）
(9) ご案内 ――（　　）
(10) まいります ――（　　）

ヒント　敬語には、つぎの上うな場合がある。A相手の動作や物に「お」をつけていう。B特別なことばを使う。C相手の動作に「れる」「られる」をつける。D自分のことをへりくだっていう。これを覚えておくと、ふつうのいい方になおせる。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

六　つぎのことばの終わりに「れる」「られる」をつけてそんけい語のいい方になおしなさい。

（れい）絵をかく　（絵をかかれる）　　手術を受ける　（手術を受けられる）

(1)茶をのむ　(2)道をきく　(3)パンを食べる
(4)山に登る　(5)話をする　(6)名まえをよぶ
(7)えだを折る　(8)家を出る　(9)木を植える
(10)家をかわる　(11)手をたたく　(12)飛行機に乗る
(13)着物をきる　(14)火をつける　(15)くぎを打つ

七　つぎのことばの終わりに、「——なさる」「——になる」をつけて、あいてにそんけいの気持ちをあらわすいい方になおしなさい。

（れい）ちゅうしゃをする　（ちゅうしゃをなさる）　　本を読む　（本をお読みになる）

(1)手紙を書く　(2)車に乗る　(3)ピアノをひく
(4)歌をうたう　(5)旅をする　(6)はさみで切る
(7)花を生ける　(8)返事をする　(9)自分で調べる
(10)農業をする　(11)病気をする　(12)声を出してわらう

八　つぎのけんそん語の——線をひいた部分をかえて、ふつうのいい方になおしなさい。

（れい）わたしが申しあげる。（わたしが言う）

(1)そうじをいたします。（　　　）
(2)絵を拝見させてください。（　　　）
(3)急いてまいります。（　　　）
(4)おみやげをちょうだいしました。（　　　）
(5)おいしくいただきました。（　　　）

注意　**自分のほうのこと**を言う場合はていねい語は使いません。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

（九）　つぎの――線をひいたことばを、うやまいの意味をもったとく別のことばにいいなおしなさい。

（れい）「そろそろ行こうか。」という。（おっしゃる）

(1)みかんを食べる（　　　）(2)家におる（　　　）

(3)七時にねる（　　　）(4)病気で死ぬ（　　　）

(5)えい画を見る（　　　）(6)着物を着る（　　　）

（十）　つぎは「敬語」について書かれた文の一節です。この文を読んで、（　）の中のいちばん適当と思うものの記号を○でかこみなさい。

「Kさん、立山がたいへん低く見えるね。」とSさんが言った。

「夜は、山は低く見えますよ。」Kさんは縁側にこしかけながら答えた。

右の文を読むと、私たちは、SさんとKさんとの上下の関係をだいたい知ることができる。それは、Sさんのことばと、Kさんのことばとのちがいによるのである。すなわち、SさんはKさんに向かって、とくにていねいなことばを使って、（㋐ある　㋑いる　㋒いない）けれども、KさんはSさんに向かって、ていねいなことばづかいをして、（㋐ある　㋑いる　㋒いない）からである。

もしこの対話の大部分を

「Kさん、立山がたいへん低く見えますね。」

「夜は、山は低く見えるよ。」

とかえれば、SさんとKさんとの関係は（㋐親しく　㋑上下に　㋒逆に）なる。つまり（㋐よ　㋑ます　㋒ね）ということばが用いられているかいないかによって、このちがいが生まれる。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十一

生徒のことばづかいで、正しいものは○、あやまっているものには×を（　）の中に書きなさい。[redacted]

先生「きょうの父兄会におかあさんは見えますか」

生徒「いいえ、母は見えません」　①（　　）

先生「ご病気ですか」

生徒「ええ、一週間ほどねています。」　②（　　）

先生「どんなようすですか」

生徒「もう心配はないと医者が申しておられます。」　③（　　）

先生「お大事にされるようお伝えください。」

生徒「はいそのように申し伝えます。」　④（　　）

先生「あの問題を小田先生にたずねましたか」

生徒「ええ、おたずねしました。」　⑤（　　）

十二

敬語の使い方のうえから考えて、つぎの各組の㋐㋑のことばのうち、正しいと思うほうを記号で答えなさい。[redacted]

(1)　㋐めずらしくはないかも知れませんがたくさんいただいてください。
　　㋑めずらしくはないかも知れませんが、たくさんめしあがってください。

(2)　㋐どうぞ自由にごらんください。
　　㋑どうぞ自由にご拝見ください。

(3)　㋐うちの兄に、ちょっと会っていただけませんか。
　　㋑うちの兄に、ちょっとお目にかかっていただけませんか

(4)　㋐わたしの母が、よろしくと申しました。
　　㋑わたしのおかあさんが、よろしくと申しました。

(5)　㋐先生によろこんでいただけると思いますので、お知らせいたします。
　　㋑先生がよろこんでくれると思いますので、お知らせいたします。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十三

きよしくんのうちへお客さまがたずねてこられました。きよしくんが、げんかんに出てお話しています。きよしくんの話し方がよいところには○、そうでないところには×をしなさい。「お」はお客さまで、「き」はきよしくんです。

お「ごめんください。」
き（　）「いらっしゃい。」
お「こちらは、山本さんのおうちですか。」
き（　）「はいそうです。」
お「あの、おとうさんはおいでですか。」
き（　）いま、会社へいっていらっしゃいます。」
お「そうですか、ここからおとうさんの会社までは遠いですか。」
き（　）「そう遠くはないよ。」
お「おかあさんはいらっしゃいますか。」
き（　）「はい。」
お「わたしは川村というものです。大阪の。おかあさんにお目にかかりたいのですが、つたえてくれませんか。」
き（　）「おきゃくさん、ちょっとまってて、おかあさんをすぐよんできますから。」

十四

つぎの文を読んであとの問いに答えなさい。

㋐ おいそがしいでしょうが、きょうじゅうにお願いいたします。
㋑ いそがしいだろうが、きょうじゅうにたのむ。
㋒ おいそがしいでしょうが、きょうじゅうにたのみます。
㋓ いそがしかろうが、きょうじゅうにたのむぞ。
㋔ いそがしいでしょうが、きょうじゅうにお願いします。

(1) いちばんていねいないい方はどれですか。ふ号で答えなさい。□
(2) いちばんらんぼうないい方はどれですか。□
(3) 「おいそがしいでしょうが、きょうじゅうにたのみます」といういい方は正しいでしょうか。正しくないとすればなぜいけないのでしょうか。
（　　　　）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

9. Miscellaneous (Sentences)

一

つぎの文の（　）の中に、あとからことばをえらび、その記号を書きなさい。（20点）

① エジソンは、天才とよぶべき（　）である。（　）そのエジソンで（　）ちょっとしたぐうぜん（　）できたものは（　）ないといっている。

㋐ しかし　㋑ 一つも　㋒ 人
㋓ さえも　㋔ など

② スポーツの第一の（　）は、たしかに勝敗では（　）。競技である。（　）身につけたその（　）をきそいあうのが（　）のである。

㋐ わざ　㋑ 目的　㋒ 日ごろ
㋓ たのしい　㋔ ない

二

つぎの文の中に、あとのことばを入れなさい。

まだ、小さいころのわがままが残っている（　）。たしかに現在のぼくは、勉強でも、人の言うことなすことに文句をつけることが（　）。……ぼくひとりの考えでおし通すことが正しいとはいえない（　）。これからは短所と言われる点については、よく考えて、直すべきところは直していく（　）。しかし、りくつっぽいという性格も、自分の考えを進めるうえにはだいじなものだから、いい生かしかたができそうに（　）。

㋐ようだ　㋑つもりである　㋒思う　㋓多い
㋔のかもしれない

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

㊂　つぎの文の（　）の中にあてはまることばを、あとのらんから選んで書き入れなさい。

(1)あの人なら（　　　）まちがうことはない。
(2)（　　　）雨がふったら遠足は中止します。
(3)けがをしたそうだが、（　　）死ぬことはあるまい。
(4)歩くかっこうが、（　　）ペンギンのようだ。
(5)そういうわけなら、（　　）雨がふっても必ず行く。
(6)あの人のことだから（　　）やりあげているだろう。
(7)あれだけ言っておいたのに（　　）やっていない。

〔まるて　まさか　まだ　けっして　たとえ　きっと　もしも〕

㊃　つぎの文の（）の中に、あとの□の中から適当と思われることばを選び、その記号を書き入れなさい。

①おまえのやったことは（　）許せない。
②父は（　）あすかえるでしょう。
③かれのやることは（　）機械のように正確だ。
④横田君なら（　）そんなことはしないだろう。
⑤（　）悪くいわれようとも、考えをかえない。

㋐まさか　㋑まるで　㋒かなり　㋓けっして
㋔たぶん　㋕ごく　㋖たいそう　㋗たとえ

㊄　つぎの(1)〜(4)の文の（）の部分にどんなことばを入れたらいいでしょうか。れいにならってそれぞれのことばを書きなさい。（12点）

（れい）　どうか一度おいで（ください）。

(1)まるで雨でもふっている（　　　）。
(2)さぞ、おこまりのこと（　　　）。
(3)まさか、こんなにおそくは来（　　　）。
(4)あのときはさっぱり書け（　　　）。

〔同志社香里中〕

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

六

つぎの文の□の中に合うことばを入れなさい。

① ひこうきが　と　たちました。
② ひこうきが　と　のを見ていました。
③ ひこうきが　と　なくなったのはいつだろう。
④ ひこうきが　と　ば、弟は大よろこびします。
⑤ ひこうきが　と　ばよいと思う。
⑥ ひこうきが　と　まわっています。

解答 **活用の問題**である。①とび　②とぶ　③とば　④とべ　⑤とべ　⑥とび　と活用する。

七

つぎの文のうち、倒置文を、主・述の位置の正しい文にしなさい。

(ア) うわあ、大きいなあ、あの汽船は。
(イ) ふって来たぞ、大つぶの雨が。
(ウ) まぶしいなあ、あの光。
(エ) とんでいる。とんでいる。無数の赤とんぼが、すいすい、すいすい。

解答 (ア)うわあ、あの汽船は大きいなあ。(イ)大つぶの雨がふって来たぞ。(ウ)あの光まぶしいなあ。(エ)無数の赤とんぼがすいすい、すいすい、とんでいる。とんでいる。

八

つぎの文を「相手をさそう文」になおすため□のところへ、あてはまることばを書き入れなさい。(**解答**)

① いっしょに海へ行□
② あの店でくだものを買□
③ 十三時一分の汽車に、乗□
④ デパートの食堂で、食事をし□
⑤ このぞうきんで、ろうかをそうじ□

九

つぎの文で、今のことをいっている文には○、すぎ去ったことをいう文には×、これからのことをいう文には△をしなさい。

① (　)とてもさむい日でしたね。
② (　)もうじき春がやってくるでしょう。
③ (　)食事をしています。
④ (　)学校から帰るときです。
⑤ (　)あすは、雨がふるでしょう。
⑥ (　)東京へいきました。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十

つぎの―せんのことばは、どんな意味で使ってありますか。□からよいものをえらんで（　）に記入しなさい。

(1) 三人は同じやどやにとまりました。（　　）
(2) 汽車がガタンといってとまりました。（　　）
(3) おなかのいたみが、とまりました。（　　）
(4) すずめが竹にとまりました。（　　）

㋐動かなくなる　㋑しなくなる　㋒ねる　㋓やすむ

十一

つぎのじゅく語は、どんなときに使ったらよいでしょう。番号を、あとの文の（　）に入れなさい。

①注意　②位置　③市場　④関係　⑤遠近　⑥会話

㋐→夕方、母にたのまれて（　）へ買い物に行った。
㋑→花と虫は、深い（　）をもっている。
㋒→写生をするときは（　）を考えることがたいせつだ。
㋓→山中くんのセンターは、（　）がわるい。

十二

次のかん字の音読みを右に、くん読みを左に書きなさい。

音（　）（　）（　）（　）（　）（　）（　）（　）
冬　色　表　寺　形　神　頭
くん（　）（　）（　）（　）（　）（　）（　）（　）

解答　音（トウ）（シキ）（ヒョウ）（ジ）（ケイ）（シン）（トウ）
冬　色　表　寺　形　神　頭
くん（ふゆ）（いろ）（おもて）（てら）（かたち）（かみ）（あたま）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十三　つぎの二つの文をくらべて、正しく書けているほうに○をつけなさい。（10点）

①
㋐（　）あしたのミルクは、おいしかったと思うでしょう。
㋑（　）きのうのミルクはとてもおいしかった。

②
㋐（　）こののりは、かたくなりそうでだめでした。
㋑（　）こののりは、かたくなりそうです。

③
㋐（　）この本は、とてもおもしろいね。
㋑（　）この本は、おもしろかったと思われた。

④
㋐（　）やっと、算数の問題がとけました。
㋑（　）やっと、算数の問題がとけませんでした。

⑤
㋐（　）秋の虫が、いい声でなきました。
㋑（　）秋の虫が、いい声でなくかもしれました。

十四　つぎの文を読んで、ことばづかいの正しいものと、正しくないものとを見分け、正しいものには○、正しくないものには×を、番号の上につけなさい。（20点各2）

(1)　雪はかなりふる。しかし寒気は強い。
(2)　さくらのさくころともなれば、こちらもあたたかくなる。
(3)　よく知っていながらはっきり答える。
(4)　成績は大事であるが身体は大事である。
(5)　ひまがないのによく読書する。
(6)　あまりのばかばかしさに二の句がつげぬ。
(7)　頭がいたくてなかなか起きれなかった。
(8)　かれはけっして正しいとは思わないだろう。
(9)　あわてたので字が書きそこなった。
(10)　そんなしらじらしいことがよくいえたものだ。〔灘中〕

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

（一）

「古事記」（ことじき）や文章を読んで、問いに答えなさい。

今から約千三百年前（ごせんねんまえ）に書（か）かれたものですが、その中にも、「田」「池」「上」「三」などが使われています。A（　　）、「小学校」という名前（なまえ）は、そのころ、「小学校」という名前が使われていません。B（　　）、「三」「草」などに書かれた文字は、「電球」という新しい物（もの）をつくるのに、「小学校」という名前をつけたのです。

（問一）ひらがなは、なぜ「小学校」ではなくて「電球」なのか。

（　　）

（問二）カタカナは、なぜ「小学校」ではなくて「電球」なのか。

（　　）

（問三）次（つぎ）の文章（ぶんしょう）を読（よ）んで、あとの問（とい）に答（こた）えなさい。

（問4）③そのようにいうことだけは、何をいっているのかわからない。

（問5）Ⓑの（　　）の中に入れることばを、次（つぎ）の中から選（えら）んで、その記号を文中の（　　）の中に書き入れなさい。

（問6）④そのうえ　⑦なぜなら　⑦だから　⑦それで

（問7）④のことばは、何をさしていますか。

（問8）⑦それで　⑦それから　⑦けれども　⑦そして

（問9）③そのようにいうことだけは、何をさしていますか。

（問10）Ⓐの（　　）の中に入れることばを、次の中から選んで、その記号を、文中の（　　）の中に書き入れなさい。

（問1）①のそのは、ここへ近年になってから、どんなものかわかりやすく説明しなさい。（　　）

（問2）②のもは、どんな説明をふくんでいますか。（　　）

（問3）Ⓐの（　　）の中に入れることばは、何をさしていますか。（　　）

（問4）③そのようにいうことだけは、何をさしていますか。（　　）

（問5）Ⓑの（　　）の中に入れることばは、何をさしていますか。（　　）

（問6）④そのうえ　⑦なぜなら　⑦だから　⑦それで

（問7）④のことばは、何をさしていますか。（　　）

（問8）⑦それで　⑦それから　⑦けれども　⑦そして

（問9）③そのようにいうことだけは、何をさしていますか。（　　）

（問10）Ⓐの（　　）の中に入れることばを、次の中から選んで、その記号を、文中の（　　）の中に書き入れなさい。

（問1）①のそのは、ここへ近年になってから、どんなものかわかりやすく説明しなさい。（　　）

（問2）②のもは、どんな説明をふくんでいますか。（　　）

（問3）Ⓐの（　　）の中に入れることばは、何をさしていますか。（　　）

（問4）③そのようにいうことだけは、何をさしていますか。（　　）

（問5）Ⓑの（　　）の中に入れることばを、次の中から選んで、その記号を、文中の（　　）の中に書き入れなさい。

（問6）④そのうえ　⑦なぜなら　⑦だから　⑦それで

（問7）④のことばは、何をさしていますか。（　　）

（問8）⑦それで　⑦それから　⑦けれども　⑦そして

（問9）③そのようにいうことだけは、何をさしていますか。（　　）

（問10）Ⓐの（　　）の中に入れることばを、次の中から選んで、その記号を、文中の（　　）の中に書き入れなさい。

（問一）ひらがなは、なぜ「小学校」ではなくて「電球」なのか。

（　　）

（問二）カタカナは、なぜ「小学校」ではなくて「電球」なのか。

（　　）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

二、　つぎの文章のうち、①から⑤のことばについて、あとの問いに答えなさい。

鉄道や、自動車が発達するに①したがって、大きいトンネルがほられるようになり、今では道路・鉄道・上水道・下水道・②水力発電用水路・電線・ガス管などのトンネルがつくられている。

世界で③いちばん断面の大きいトンネルは、アメリカのエルバ・ブエナ島にほられた④高さ十八メートル、はば二十四メートルの二階だての自動車道路で、世界⑤最長のトンネルは、アメリカのハンチントン湖の水路トンネルである。

① 右の文章の「したがって」と同じ意味に使われているものを、つぎから一つ記号で選びなさい。

㋐ 村の習慣にしたがっておまつりには人をまねく。

㋑ 年をとるにしたがってこしがまがった。

㋒ 先生にしたがって動物園の門をくぐった。

㋓ 兄弟は助け合わなくてはならない。したがって、たがいになかよくしよう。

注意「したがって」には、㋐だから　㋑あとについて　㋒…につれて　㋓…を守るきまり　などの意味がある。

② 「水力」ということばは「水」「力」という二つの語が集まってできています。そして、「水」「力」にある種の関係がなりたっています。上の語と下の語とがこういう関係で組み合わされていることばを、つぎから一つ記号で選びなさい。

㋐発電　㋑不利　㋒山道　㋓左右

③ 右の文章の「いちばん」ということばの使い方と同じ使い方のものを、つぎから一つ記号で選びなさい。

㋐ ぼくの受験番号はいちばんである。

㋑ 兄が、しょうぎをいちばんさした。

㋒ これがいちばん美しい絵です。

㋓ むずかしいが、いちばんやってみようか。

④ 「高さ」ということばは、「高い」ということばがもとになっています。このようなかわり方でできている語をつぎから一つ記号で選びなさい。

㋐まわる　㋑洋服　㋒子ども　㋓厚み

⑤ 「最長」ということばの反対の意味のことばを漢字二字で書きなさい。

□

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

三　　つぎの文章を読んで、問いに答えなさい。

い物工場では、ものすごい火花がぱちぱちとふき出し、どろどろにとけた鉄が、い型の中へ注ぎこまれている。工員さんは鉄仮面のような物を顔に当て、ぎらぎら光るほのおを受けて働いている。(1)ここでは、自動車に使うい物の部品を作っているのだ。向こう側のたん造工場からは、だーん、だーん、だん、だーんと、大地でもさけるような、ものすごい音が聞こえてくる。わたしたちは、こんくりーと道路を通って、その工場へ近寄ってみた。(2)そこには、せの高い機械が立ちならんでいて、すごい音をたてて活動している。台の上には、まっかな鉄が置いてある。それを、大きなはんまーが自動的にたたきつけながらきたえている。ここでは歯車や車じくを作っているのだ。「きーん、きーん」わたしたちはつぎの工場へ向かっていった。

（問1）　この文章にはカタカナで書いたほうがよいところが五つあります。それをさがして、つぎの（　）の中に書きこみなさい。

①（　　　　）　②（　　　　）

③（　　　　）　④（　　　　）

⑤（　　　　）

（問2）　文の中の(1)ここではのここは、どこのことですか。

（　　　　　　　　）

（問3）　文の中の②そこにはのそこは、どこのことですか。

（　　　　　　　　）

（問4）　作者たちが見学した工場は、どことどこで、そこでは何をつくっていましたか。

（　　　　　　　　）

（問5）　やかましいのは、どの工場ですか。

（　　　　　　　　）

（問6）　目のさめるような工場は、どの工場ですか。

（　　　　　　　　）

ヒント　カタカナで書くときは、**外来語**と、**擬音語**とがある。だから（問1）の問題では、どれが外来語で、どれが擬音語かを見つけるとよい。

また、（問2）（問3）などは、文中のどのことばをさしているかを見つける問題であるが、「そこ」「ここ」は、**前段のたいせつなことばを見つけ出し、**つないでみると、何をさしているかがわかるものである。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

四

文章を読んで、問いに答えなさい。

①（　　）時代の有名な②（　　）松尾芭蕉は旅するのが好きでした。長い旅を続けているあいだには、いろいろな苦労や災難に出あいましたが、③それをのりこえることによって人間的にも成長するとともに、芭蕉の芸術は一段と高められていったのです。かれの作品の中でも、④（　　）は奥羽・北陸地方を旅行したときの旅行記で他に見いだすことのできないすぐれた内容を持ち、かれの多くの旅行記中でも最大の力作と考えられています。

旅に病んでゆめは枯野をかけめぐる

右の句は、かれの辞世の句として伝えられていますが、うつらうつら見るゆめの中にも、なお旅に、詩に、心をむけている芭蕉の気持ちは、われわれに深い感動をあたえずにはおかないでしょう。

（問1）①にあてはまる時代の記号を○でかこみなさい。

㋐鎌倉　㋑江戸　㋒明治　㋓平安　㋔奈良

（問2）②にあてはまることばを選び、その記号を○でかこみなさい。

㋐小説家　㋑俳人　㋒劇作家　㋓歌人

（問3）④にあてはまる作品の記号を○でかこみなさい。

㋐坊っちゃん　㋑おらが春　㋒奥の細道　㋓さらしな日記

（問4）③は何をさしていますか。〔　　　　　　〕

（問5）芭蕉の芸術はつぎのどれですか。

㋐和歌　㋑俳句　㋒自由詩　㋓物語

文学の歴史を知っておくとよい。・季語は「枯野」である。

解答　（問1）は㋑（問2）は㋑（問3）は㋒（問4）はいろいろな苦労や災難（問5）は㋑

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

五、文章を読んで、問いに答えなさい。（配点25）

ペスタロッチが貧しい子どもやみなし子たちのためにつくす努力は一生続いた。かれはこじ院を作り、小学校の教師をつとめ、貧民学校をおこし、また、その間に、多くの書物を書いた。そのために、身をけずる思いをした（あ）、最後まで志を曲げなかった。ふぶきの道にも似たつめたい道をかれは（い）。一八二七年の冬、かれは、最初にじぜん学院を開いた思い出の土地で八十二才の一生をとじた。かれこそ愛に生きぬいた教育者として、今（う）全世界の人々からあおがれている。また、その教育の方法は、子どもたちの経験を通して学ばせる新しいやり方であった。実物を観察させて生きた知識をえさせたり、自分でくふうして物を作らせたりした。そうして子どもたちに、自分から学ぼうという心をおこさせた。（え）かれは、世界の教育の進歩にも大きな貢献（こうけん）を残したのである。

（問1）文中の（　）の部分に、つぎからそれぞれもっともふさわしい語句を選び、その記号を○でかこみなさい。

あ〔㋐から　㋑が　㋒のに　㋓ので〕

い〔㋐歩み続けるのである　㋑歩み止めたのである　㋒歩み急いだのである　㋓歩み続けたのである〕

う〔㋐より　㋑まで　㋒なお　㋓さら〕

え〔㋐そこで　㋑だのに　㋒こうして　㋓だから〕

（問2）ペスタロッチの新しい教育方法はどんな方法ですか。文中のことばを使って二十字以内で書きなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

（問3）右の文章では、ペスタロッチはどんな人だといっていますか。文中のことばを使って十字以内で書きなさい。

□□□□□□□□□□

（問4）ペスタロッチの教育の方法によって、子どもたちは、どういうふうにかわったでしょうか。つぎからもっともふさわしいものを選んでその記号に○をつけなさい。

㋐実物を観察して生きた知識をえる。　㋑自分から学ぼうとする心をおこす。　㋒自分でくふうして物を作る。　㋓かれの愛情にこたえるようになる。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

㊅　文章を読んで、問いに答えなさい。

小さいころのぼくは、強情で、わがままだった（　）。町を歩いていても、何かほしい物が目につくと、その店の前で、動かないで、母をてこずらせた（　）。品物ばかりでなく、なんでもじぶんの思いどおりにならないと大声を出して、うちの者にくってかかったと（　）。これはぼくが末っ子で、しかも、すぐ上の兄と六つもちがっていたため、みんなから「ひろぼう、ひろぼう」とあまやかされて育ったためらしい。

（問１）　文中の（　）の中に、つぎのことばで適当するものの記号を書きこみなさい。

㋐言われる　　㋑らしい　　㋒そうだ

（問２）　作者が、強情で、わがままな子になったのは、どうしてですか。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（問３）　この文章に題をつけるなら、つぎのどれがよいでしょう。○をつけなさい。

㋐ぼくの意見　　㋑ぼくの性格　　㋒ぼくの家庭

（問４）　Ⓐのとと同じ使い方でないものに×をしなさい。

（　）小鳥と暮らしていると、心はいつもなごやかだ。
（　）雨がふると、木の葉がぬれる。
（　）いよいよ夏も半ばとなった。
（　）「さようなら」といってかえった。
（　）近づいてみると、石ころだった。
（　）半分だけ知っているのは知らないと同じだ。

[illegible] 生活文とはいっても生活感想文の中にはいる文章であるが、みんなと同じ年ぐらいの作品であるから、あまりわかりにくいことはないと思う。ただ題をつけるときに、文章の内容が「強情だ」とか「わがまま」などについて書いてあるのだから、これは何をあらわすものかを考えるとすぐわかる。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

（七）つぎは中山太郎から町田一雄にあてた手紙文です。読んで問いに答えなさい。（[redacted]）

そろそろ虫の声もすくなくなってきました。その後(ア)皆さまお変わりありませんか。私たち、みんな元気ですから御安心ください。次郎と光子と、今でも東京のことを思い出しては「また行きたいなあ」と話し合って(イ)いる。ことしの冬休みにこちらにぜひいらっしゃい。あまり雪はふらないけれど、おもしろいお正月の行事があります。都会育ちの(ウ)きみはきっと喜んでもらえると思います。おじさんやおばさんのおゆるしもあることですから、かならず遊びにきてください。宿題もいっしょに(エ)しませう。楽しみに(オ)持っています。

□

（問1）太郎と一雄との関係はつぎのどれですか。もっとも正しいと思うものの番号を○でかこみなさい。

①いとこ　②きょうだい　③ともだち　④おじとおい

（問2）この手紙文を書いた季節はつぎのどれですか。よいものの番号を○でかこみなさい。

①九月のはじめ　②十月の終わり　③十二月のはじめ

（問3）この手紙文の目的はつぎのどれですか。正しいものの番号を○でかこみなさい。

①お礼をいうこと　②問い合わせること　③相手をまねくこと

（問4）□のところにいれることばを考えて書きなさい。

□

（問5）この手紙文の最後の書き方はつぎのどれがよろしいか。ふ号を○でかこみなさい。

ア　月　日　中山太郎　町田一雄様

イ　中山太郎　町田一雄様　月　日

ウ　町田一雄様　中山太郎　月　日

（問6）この手紙文の中で━線をつけたつぎのことばは漢字やことばの使い方が正しくありません。（　）の中に正しいことばを書きなさい。

(ア)皆なさま（　　）　(イ)いる（　　）

(ウ)きみは（　　）　(エ)しませう（　　）

(オ)持って（　　）

（福岡学芸大付属久留米中）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

八

つぎの文章を読んであとの問いに答えなさい。

①わたしたち人間は、一つ一つの物に、それぞれ名まえをつけています。②新しい物を考え出したり、初めて作ったりすれば、すぐ、それに名まえをつけます。

③それでは、どういうふうにして、物に名まえをつけてきたのでしょう。

④みなさんは海にいる「ひとで」というものを知っていますね。⑤「ひとで」は、ちょうど人間の手をひろげたような形をしています。⑥そこで、「ひとで」といわれたのです。⑦ちょうや、がのよう虫を「いもむし」というでしょう。⑧あれは、その形がごろごろふとっていて、ちょうど「いも」の形ににているのでこういう名まえがつけられたのです。⑨これらは、おもに物の形をもとにしてつけられた名まえです。

⑩また、物の色によってつけた名まえもあります。⑪「からす貝」というのは、貝がらの色が「からす」のように黒いので、このような名まえがついたのです。

(1)右の文章の中で、作者が事実（事がら）をのべている文を四つ選んで番号で書きなさい。

（　）（　）（　）（　）

(2)また、せつ明するために、れいをしめしている文を六つ選んで番号で書きなさい。

（　）（　）（　）（　）（　）（　）

注意 作者が**事実を**のべている部分と、**例をあげている**部分を読み分けましょう。

(3)読み手に問題を投げかけている文は何番ですか。（　）

(4)この文章のよう点をつぎの文から二つ選びなさい。

㋐新しい物を考え出したり、初めて作ったりしたときには、名まえをつける。

㋑物にはそれぞれ、名まえがつけられている。

㋒「ひとで」は、ちょうど人間の手をひろげたような形をしているので「ひとで」といわれている。

㋓物の名まえには、その物の形や色をもとにしてつけられたものがある。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

九

つぎの文章を読んであとの問いに答えなさい。

正倉院に行っておどろくことが二つある。一つは、千二百年もむかしのものが、よくもそのまま残されているということである。なかには、長い年月の間にいたんだものもあるが、大部分は、遠いむかしのおもかげをそっくり残している。ことに、赤や緑のあざやかなこと、まるで、今、作ったばかりかと疑われるほどである。もう一つおどろくことは、千二百年も前のものでありながら、なにか西洋風で、しかもしんせんな感じのすることである。いろいろな形をしたカットグラスなどは、今、わたしたちの家庭で使っても、少しも不似合いな感じはしないであろう。

(1) この文章を三つのだん落に分けるとしたら、どこで切ったらよいですか。その切れめに「のしるしをしなさい。

(2) 「おどろくことが二つある。」とありますが、それは何と何ですか。文章の中からぬき書きしなさい。

㋐

㋑

(3) 二つの「おどろいた点」について、それぞれ、一つず つ具体的に事がらや物の名をあげていますが、それを つぎのらんの中から選んで○をしなさい。

㋐正倉院　㋑赤や緑のあざやかなこと

㋒むかしのおもかげ　㋓カットグラス

㋔不似合いな感じがしないこと

十

つぎの文章を読んであとの問いに答えなさい。

平安時代のはじめごろに、かな文字が発明されたために、国語の記録もひじょうにらくになりました。かな文字というのは、漢字の画数を略して書いたり、草書体をさらにくずして書いたりしたもので、まったくの表音文字として使われたものです。そこで、前の時代にもさかんに作られた和歌はもちろんのこと、長い物語の類まで、すらすらと書くことができるようになり、平安時代の文学をいちじるしく発展させる力となりました。

(1) つぎのことばの意味の正しいものに○をしなさい。

まったくの　㋐完全な　㋑正確な　㋒たしかな

いちじるしく　㋐さかんに　㋑いちばん　㋒目だって

(2) 「いちじるしく発展させる力」とありますが力となったものは何ですか。つぎの中からよいものに○をしなさい。

㋐和歌や、物語がさかんに作られたこと

㋑かな文字が表音文字として使われたこと

㋒漢字の画数を略してかんたんにしたこと

(3) この文章のよう点はつぎのどれですか。もっともよいものを選んで○をしなさい。

㋐平安時代のはじめごろにかな文字が発明された。

㋑かな文字は、漢字の画数を略して書いたり、草書体をさらにくずして書いたものである。

㋒かな文字が発明されたため、国語の記録がひじょうにらくになった。

㋓かな文字は、平安時代の文学を発展させた。

㋔かな文字は、まったくの表音文字として使われた。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十一

つぎの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

むかし、ある所に、茶つぎのポットがありました。自分のからだがせともの であることをじまんし、形のいい手をじまんしていました。でも、ふたのことは、何にも言いませんでした。ふたは、一度われたものをついだものでした。①これが、ポットのただ一つの欠点でした。自分の欠点は、だれでも言いたがらないものです。けれども、ほかのものには、②そこにばかり目をつけます。茶わんや、クリーム入れや、さとうつぼ、つまり、お茶道具のなかまたちは、ポットのりっぱな手や、Ⓐ申し分のない口のことよりも、われたふたのほうをよく覚えていて、いつもⒷ話題にしました。

(1) ①のこれは何をさしますか。（　　）

(2) ②のそこは何をさしますか。（　　）

(3) ポットがじまんしたのは、何と何についてですか。（　　）

(4) ポットが、ふたのことについて、何にも言わなかったのはなぜですか。つぎのよいものに○印をつけなさい。

㋐ふたのことについては何も言う必ようがなかったから。

㋑ふたのことはみんなよく覚えていると思ったから。

㋒ふたが自分の欠点で、欠点は人に言いたくないから。

(5) お茶道具のなかまたちが、われたふたのほうをよく覚えていたのはなぜですか。よいものに○をしなさい。

㋐他人の欠点はよく目につくものだから。

㋑ポットがよくじまんするのがいまいましくて、よい点はわすれようとし、欠点を覚えようとしたから。

㋒わざと、ふたのことを言ってポットをおこらせるのがおもしろかったから。

(6) つぎのことばの意味でよいものに○をしなさい。

Ⓐ申し分のない
- ㋐いいわけをすることができない
- ㋑何ももんくをいうことのない
- ㋒口で言うのがむずかしいくらい

Ⓑ話題
- ㋐話し合いのもとになる考え
- ㋑話し合いをまとめたときつけられる題
- ㋒話の材料、話のたね

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十二

つぎの手紙を読んで、といに答えなさい。

　きょう、夕方、おじさんの家にきました。
駅まで、おじさんと正一さんが、むかえにきていました。
おじさんは、
「よく来たなあ。新ちゃん、大きくなったね。」
といって、大きな手でぼくの頭をなでました。正一さんは、とても元気そうで、赤いほっぺたをしていました。せいの高さは、ちょうどぼくと同じくらいです。おばさんは、ごちそうの用意をして待っていました。家に着いて、すぐ、たくさんごちそうをいただきました。おばさんは、ぼくがたくさんたべたといって、よろこびました。ぼくは、正一さんと、すぐ、なかよしになりました。正一さんは、あした松江（まつえ）の町を案内してくれるそうです。

新治

おかあさんへ

(問1) 「だれから」「だれに」出した手紙ですか。
（　　　　　）から（　　　　　）へ

(問2) 駅に新ちゃんをむかえに来ていた人に、○をつけなさい。
㋐おばさん　㋑正一さん　㋒おじさん　㋓おかあさん

(問3) おばさんがよろこんだわけは、つぎのどれですか。
㋐ 新治君が大きくなっていたから。
㋑ 新治君がひとりできたから。
㋒ 新治君がごちそうをたくさんたべたから。

(問4) 新治君は、いま、何という町にいますか。町の名まえを書きなさい。（　　　　　）

(問5) 新治君と正一さんとのかんけいは、つぎのどれでしょう。
㋐ 前から何回も会って、よく知り合っていた。
㋑ こんど初めて会ったので、どんな人かよく知らなかった。
㋒ おたがいに知っていたけれども、ふたりは、なかがわるかった。

(問6) この手紙は、つぎのいつ書いたものと思われますか。
㋐ おじさんの家についた日
㋑ おじさんの家についたあくる日
㋒ おじさんの家につく前

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十二、つぎの文しょうを読んで、といに答えなさい。

ベートーベンが、まだわかいころのことであった。月のさえた夜、かれは友人とふたりで町へ散歩に出かけた。うす暗い小道の、あるみすぼらしい家の前まで来ると、㋐かれは急に立ちどまった。中からピアノの音が聞こえてくる。

「おお、あれはぼくの作った曲だ。聞きたまえ、なかなかうまくひいているではないか。」

ふたりはしばらく耳をすましていたが、ピアノの音は、はたとやんだ。

「にいさん、まあなんといい曲なんでしょう。わたしは、もうとてもひけません。ほんとうに一度でもいいから、えんそう会へ行って聞いてみたい。」

と、さもなさけなそうにいっているのは、女の声である。

「いかせてあげたいが、このようにまずしくては、えんそう会どころではなさそうだ。」

と、兄の声がする。

「はいってみよう。そうして一曲ひいてあげよう。」

ベートーベンは戸をあけて、はいっていった。

かれは、中にはいっておどろいたのもむりはない。あの女の声の人は、目が見えないのである。ベートーベンは、しずかにピアノの前にすわった。

(問1) ㋐の「かれが急に立ちどまった」のは、なぜですか。つぎの中から、よいものに一つ○をしなさい。[redacted]

( ) 中から、ピアノの音が、聞こえたから。

( ) 女の子の話し声が、あまりにかわいそうだから。

( ) 自分の作った曲が聞こえたから。

(問2) 「――一曲ひいてあげよう。」といったベートーベンの気持ちは、つぎのどれでしょうか。[redacted]

( ) 自分の曲をひいていたので、もっと、じょうずにひいてあげたかった。

( ) えんそう会に行けないので、かわいそうだから。

( ) 音楽がひじょうにすきな女の子が、まずしくてかわいそうだから。

( ) みすぼらしい家なので、かわいそうな気がした。

(問3) ベートーベンが、しずかにピアノの前にすわったのは、つぎのうちのどの気持ちでしょうか。[redacted]

( ) 女の子のために、いっしょうけんめいひく。

( ) 自分の曲のために、いっしょうけんめいひく。

( ) 友人に、聞いてもらうために。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十四

つぎの手紙を読んで、といに答えなさい。

光一（こういち）君、元気かね。

北海道（ほっかいどう）は、このあいだから雪がふり㋐ツツいて、すっかり銀世界になってしまった。北海道では、たいてい、十一月の終わりごろから、雪がふり㋑ハジめ、ひどいふぶきになることもある。ふった雪はとけないで、根雪になって、来年の春まで残るのだ。

農村の人は、外で㋒ハタラくことができず、ストーブをたいた家の中で、わらしごとや、かちくのせわをしているのがふつうだ。Ⓑ野菜は秋の間にとりいれて、たくさんたくわえておくので、Ⓒ不自由はないようだ。

でも、北海道の人々は、みんな、家の中で冬ごもりしているのではない。今ごろは、㋓フカい山おくで木を切り出すⒹ作業が、さかんに行なわれている。Ⓔ大木のたおれるようすは、ほんとうに㋔イサましい。

また、冬はこどもたちの天国だ。晴れまには、スキー、スケート、雪がっせんと、みんな寒さに負けずいそがしい。犬や馬や、それに、光一君の知っているめんようなども、元気いっぱいだ。

ところで、北海道でなつかしいのは、土だ。あたたかくなると、きっと雪の下から顔を見せる土なのだが、今はどこにも見られない。ほんとうに春になって土を見る時の気持ちは、雪国に住んだ者でなくてはわからないだろう。

では、みなさんによろしく。こんどは、絵はがきを送ってあげよう。

十二月十日　　新（しん）作（さく）

光一君

(問1) ――せんのひいてあることばを、かん字で書きなさい。（10点）

㋐(　　) ㋑(　　) ㋒(　　) ㋓(　　) ㋔(　　)

(問2) 〰せんのひいてあることばの読みがなを書きなさい。（5点）

Ⓐ(　　) Ⓑ(　　) Ⓒ(　　)

Ⓓ(　　) Ⓔ(　　)

(問3) この手紙の前文、主文、末文（まつぶん）の終わりに、」をつけなさい。（9点）

(問4)「不自由がない」のは何ですか。（5点）

(　　)

(問5) なぜ、「冬はこどもの天国」なのでしょう。（5点）

(　　)

(問6) この手紙で知らせようとしている事がらは、つぎの中のどれでしょうか。○を一つつけなさい。（6点）

㋐ 北海道では雪がふるのが早い。

㋑ 北海道の冬のようす。

㋒ 北海道の人は冬がきらいで、早く春が来るのを待っている。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十五

つぎの文しょうを読んで、といに答えなさい。

「ヤーイ、てんぼう、てんぼう。」

と、村の子が、こういっても、清作は、はをくいしばっていました。そして、「今にみろ、きっとりっぱな人になってやるから。」と、心を強くするのでした。これが、野口英世の小さい時のことです。こうして、何事につけても、清作は、苦しい中で、がまんするのでした。

(問1) 清作が人から悪口をいわれて、だまっていたのはどうしてですか。(　　　　　　　　　　)

(問2) 悪口をいわれるたびに、清作はどうしましたか。

(　　　　　　　　　　)

十六

つぎの文しょうを読んで、といに答えなさい。

こんなわらい話があります。

お月さまと、お日さまと、お星さまが旅さきでいっしょになりました。三人は、同じやど屋にとまりました。あくる朝、お星さまが目をさましてみたら、お月さまもお日さまも見えません。――おや、どこへ行ったのだろう。お星さまが、ふしぎに思って、やど屋の主人にたずねたら、

Ⓐ「お月さまもお日さまも、もう、おたちになりました。」

と、答えました。お星さまは、

Ⓑ「月日のたつのは早いものだ。」

と、ひとりごとをいいました。

① 「Ⓐ」のことばをいったのは、つぎのだれですか。○をつけなさい。(3点)

㋐ お星さま　　㋑ お日さま

㋒ やど屋の主人　　㋓ お月さま

② 「Ⓑ」のことばをいったのは、つぎのだれですか。○をつけなさい。(3点)

㋐ お日さま　　㋑ やど屋の主人

㋒ お月さま　　㋓ お星さま

③ これは「わらい話」だというのですが、[redacted]どんなところがおもしろいのですか。(6点)

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十七

つぎの文しょうを読んで、といに答えなさい。

「十和田湖でさかなを育ててみたいが、どうだろう。」ランプのほのおがゆらめくろばたで、和井内貞行は、つまのカツ子に言った。つまはおどろいた。おどろくのもむりはない。神のばちで、さかな一ぴきもいないといわれる十和田湖である。

「わたしは、前から考えていた。水も水草も調べた。さかなのえさになる小虫もいる。ここでさかなが取れるようになれば、みんなの食料になるばかりか、こどもや孫の代までも、いや、もっと先々まで、この地方の大きな産業になる。」

熱心なことばに、つまも動かされた。明治十七年、貞行が二十七才の時である。

しごとは、さっそく始められた。

（問1）　だれのでん記ですか。（　　　）

（問2）　何をなしとげようとした話ですか。

（　　　）

（問3）　仕事の目あては、何ですか。

（　　　）

（問4）　今までに、どうしてできなかったのですか。

（　　　）

十八

つぎの文章を読んで、問いに答えなさい。（14点）

北里博士は、コッホ先生の恩をわすれず、先生の死後、毎年コッホ祭を開き、記念の会をもよおしていました。ところが、大正六年といえば、不幸にも、第一次世界大戦でドイツと戦っていたときなので、敵国の人を記念するとは何ごとだと言う人がありました。それに対して、博士は、「学問に敵みかたはない。敵国の人だから記念してはならないというのは、学問とは何であるかを知らない者の言うことだ。コッホ博士は、人類の大恩人である。人間であるかぎり、このような人は、いつ、どんなばあいにも、どこの国でも、そんけいしなければならない。」と、あやまったひなんに答えました。

(1) あやまったひなんとは、文中のどこをさしますか。十五字以内で答えなさい。

（　　　）

(2) 北里博士の学問に対する考え方がもっともよくあらわれていることばを文中から選び、十字以内で答えなさい。（　　　）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

十九

つぎの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

エジソンは研究に追われて、税金（ぜいきん）を納（おさ）めるのをわすれていたことがありました。役所からさいそくがきたので、エジソンは急いで税金を納めに行きました。そのとちゅうも研究のことを考えながら歩いていきました。係りの人が、「どなたですか。」と聞きました。すると、エジソンは、「さて、だれでしたっけ、ええと、ぼくは……。」口をもぐもぐさせるだけで、自分の名まえが出てこないのでした。

(問い)　エジソンはどんな人だと思いますか。つぎの中からよいと思うものに○をしなさい。

(ア)エジソンは研究は熱心にやるが、わすれっぽい人だ。

(イ)エジソンは研究に追われているときでも、税金（ぜいきん）を納（おさ）めにいくほど、きちょうめんな人である。

(ウ)エジソンは研究にすべてを打ちこんで生きている人である。

(エ)エジソンは、ときによっては自分の名まえをわすれるほど、ぼんやりした面もあった。

二十

つぎの文章は「ひめだかの観察」という文章の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

四日めの二十七日には、糸のような血管の中に血の流れが見え始めました。その成長の速いのには、みんなびっくりしました。二十九日には、魚の形が、たまごの中にまるく見え始めました。頭のあたりに、黒い二つの目があるのが、けんび鏡なしでも、わかるようになってきました。七月一日に、初めの一ぴきが、かわいいひめだかの子になって泳いでいました。ほうかん紙を下にしいたガラスの器に移して、大きさを測ったら、四ミリほどありました。

(1)たまごがうまれたのは何日でしょう。

(2)魚の形が見え始めたのは、何日めですか。

(3)たまごが子めだかになったのは何日めですか。

(4)そのときのひめだかのようすはどうでしたか。

二十一

町のけいし板につぎのような知らせが出ていました。答えのよいのに　をしなさい。

(1) 十日にも雨がふり、十一日にも雨がふったら映画はどうなりますか。

ア やめてしまう　(イ) 十一日にやる　(ウ) 十二日にのばす　(エ) つぎの日曜日

(2) 映画を見るのには、お金はどうすればよいでしょう

ア お金はあとで出せばよい　(イ) お金は前の日に出す　(ウ) お金は見るときに出す　(エ) お金はいらない

映画会

- 2月10日（日曜日）
  雨天順延
- 午後6時～9時
- 千田中学校校庭
- 入場無料

広島文化会

二十二

つぎの文を読んで問いに答えなさい。

植物採集のおしらせ

きたる十九日（日）に理科部植物はんで植物採集をすることになりました。当日は山口先生と大川先生がいらっしゃっていろいろ教えてくださる予定ですので、はんにはいっていない諸君の参加を歓迎しますから、希望者は六年二組の安田に申し込んでください。なお雨天の場合は中止します。

記

一、日　時　五月十九日午前八時三十分
一、集合場所　新宿駅表口
一、行く先　高尾山

五月三日

理科植物はん

（問1） 右の文章が掲示板（けいじばん）にはってあります。この中に書かなければならないことが三つぬけていますが、それをつぎにあげてください。

①〔　　〕　②〔　　〕　③〔　　〕

（問2） 右の文章のうち、かたわらに線をひいたのでのところは、そのまま終わりまでずっと読んでいくと意味はわかりますが、文章として間がのびています。そこで、のでをやめていろいろになおしてみましたが、つぎのうちどれがよいでしょう。もっとも適当なものに○をつけなさい。

①…予定ですが　②…予定ですので　③…予定です
④…予定として　⑤…予定で

（慶応普通部）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

二十三

つぎの文章を読んで、問いに答えなさい。

ことばは、たしかに文化を育てていく原動力だと思います。文化の発達は、ことばなしには考えられないと思います。わたしは、もと、文化の原動力は人間の思考の力にあるのではないかと思っていました。ところが、よく考えてみると、思考そのものがことばであり、ことばによっておし進められているのではないかと気づいてから、ことばのとうとさを、いっそう切実に感じたわけです。

(問1)　「ことばによっておし進められている」のはつぎの何ですか。

①文化　②ことば　③思考　④人間　⑤原動力

(問2)　もと文化の原動力は何にあると考えていたのですか。

①ことば　②人間の思考の力　③まことに適切に

(問3)　「切実に」というのはどういう意味ですか。

①切った実のように　②いままでより以上に

③まことに適切に

二十四

文章を読んで、問いに答えなさい。

いわゆる頭のよい人は、（①　）足の速い旅人のようなものである。人よりさきに人のまだ行かないところへ行きつくこともできるかわりに、途中（とちゅう）の道ばたや（②　）ちょっとしたわき道にあるかんじんなものを見おとすおそれがある。（③　）すなわち足ののろい人がずっと後からおくれてきて、わけもなくそのだいじな宝物（たからもの）をひろって行く場合がある。

(問1)　文中の（　）にあてはまることばを見つけて記号て入れなさい。

(ア)しかし　(イ)いわば　(ウ)決して　(エ)あるいは

(オ)頭のよい人　(カ)頭の悪い人

(問2)　この文章はつぎのどんなことをいっているのですか。正しいものの番号を○でかこみなさい。

(1)頭がよいからといって安心してはいけない。

(2)頭のよい人の欠点をのべ、また頭の悪い人の長所をのべている。

(3)頭の悪い人は、人よりおくれる。

(4)頭のよい人へのいましめがのべてある。

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

三十五

つぎの文章は、何について書かれたものですか。（　）の中の正しいものの記号を○でかこみなさい。

新聞の記事には、政治・経済・外交などに関するニュースや社会のできごとに関するニュースなどがある。そのほか学問・芸術・宗教などに関する記事・家庭や婦人向けの記事、もよおしもの・スポーツ・ごらくなどと、広いはん囲にわたっている。

（①新聞の種類　②記事の内容　③ニュース）

三十六

つぎの日記を読んで、問いに答えなさい。

きょう、野口英世（のぐちひでよ）の㋐でんきを読んだ。てんぼうといはれながらも、㋑いっしんに勉強し、家の手伝いをした少年清作のりっぱさや、清作の母が、清作の勉強ぶりをたのしみに、まっくろになって㋒はたらいたたっといい母の㋓あいに心をうたれた。

（問1）「てんぼう」といわれたのはだれですか。
（　　　　　　　　　　）

（問2）少年清作とはだれのことですか。（　　　　）

（問3）㋐㋑㋒㋓のかなを、漢字で書きなさい。
㋐（　　　　）　㋑（　　　　）
㋒（　　　　）　㋓（　　　　）

（問4）文中に一字、かなづかいのまちがいがあります。そのことばをさがして書きなさい。（　　　　）

（問5）作者は何に心をうたれましたか。
（　　　　　　　　　　）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

二十七

つぎの文を読んで、あとの問いに答えなさい。

また、わたしたちの生活は全世界の恩恵（おんけい）を受けている。どこかで便利な機械が発明されれば、わたしたちは、㋐その機械を利用することができる。どこかでいい薬が発明されれば、その薬の恩恵（おんけい）を、すぐわたしたちも受け、今まで不治だと思われた病気も直すことができる。すぐれた文学がどこかで書かれて有名になればわたしたちは、すぐ㋑その作品のほん訳を読むこともできる。

（問）——線をつけた「その」はどういうことをさしていますか。

㋐（　　　　）　㋑（　　　　）

二十八

つぎの日記文を読んで問いに答えなさい。

朝ごはんのとき、おかあさんが、「さち子もふみ子も、右手と左手との太さがちがうわね。」とおっしゃったので、わたしが、「水くみするとき、いつも右手で運ぶから、右手が太いのよ。」というと、おとうさんが、「それじゃ、春男のように左ぎっちょで運んだらいいだろう。」と、にいさんのほうを見ながらおっしゃった。十時ごろ、青山さんが、お願いしてあった朝顔のなえを持って来てくださった。午後の水くみは、左手でやってみた。しかし、左手ではなかなかつらく、すぐ水をこぼして、なんべんも右手にかえねばならなかった。正男が、「それ、しっかり、しっかり。」とはやしたてるのでおかしくなって力がぬけてしまった。ひでりがつづいているので、庭の草花は、しおれてしまいそうだ。夕がた、ふみ子とふたりで庭の水まきをした。なんとなくすずしい感じがしてうれしかった。

(1)この日記の季節はいつですか。（　　）

(2)この日記を書いたのはだれですか。（　　）

(3)この日記の中に書かれている人は何人ですか。（　　）

(4)左きき（左ぎっちょ）の人は何人ですか。（　　）

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY

二十九

つぎの手紙文は、森里子（もりさとこ）さんが、東京の国立博物館に出したものです。博物館の人が返事を出すとしたら、何と何を書けばよいですか。あとのらんの文で、ぜひ必ようなものに○印をつけなさい。

わたしは小学校の五年生です。歴史がすきて、とくに、はにわに興味をもっています。今、そちらの博物館て、はにわの特別展らん会が開かれていると聞きました。この十六、十七日の土曜、日曜に、東京のおじさんの所へ行きますので、日曜日に、それを見学したいと思っています。展らん会は、いつまで開かれていますか。開館、へい館の時こくもお教えください。お仕事でおいそがしいところをすみませんが、ご返事をお願いします。

㋐十六、十七日の博物館の予定。
㋑日曜日は閉館しているかどうか。
㋒はにわの特別展らん会が開かれている期間。
㋓開館時間とへい館時間。㋔はにわがあるかないか。
㋕博物館ての仕事がいちばんいそがしい時こく。

三十

つぎの、おかあさんからの手紙を読んで、あとの問いに答えなさい。

パリに来て一週間たちました。有名ながいせん門の近くのホテルにとまり、美しいパリの町を朝に夕にながめて、気持ちよく過ごしました。夜になると、このがいせん門に四方からライトが当てられ、くっきりとうき上がって、たいへんきれいです。市の中央にあるコンコルド広場のふん水のまわりには、ちょうど研ちゃんぐらいの年令の男の子が、おもちゃのヨットをうかべて遊んでいました。八月の半ばというのに、パリては、そろそろマロニエの葉が落ちかけ、秋を思わせる気候です。記念にマロニエの葉を持って帰ります。

(1)どこからの手紙ですか。……………（　　）
(2)だれにあてた手紙ですか。…………（　　）
(3)手紙が書かれたときの季節はいつですか。（　　）
(4)コンコルド広場の光景で、筆者の心に残ったことはつぎのどれてすか。ふ号に○印をつけなさい。

㋐ふん水が市の中央にあること
(イ)ふん水のまわりて男の子がおもちゃのヨットをうかべて遊んでいたこと
㋒美しいパリの町の朝夕のながめ

三十一

つぎの文章を読んで、問いに答えなさい。

「日本人は、どうも、抗議する義務を知らないからこまる。」と言った友人があった。① 何か不正なことがあった場合に、それに抗議を申しこむのは、権利ではなくて、義務だというのである。② これは、なかなか味のあることばである。③ たとえば、電車に乗る場合に、乗客が長い列を作って待っている。④ やっと電車が来て、乗客が順々に乗りこむ。⑤ そのとき、わきからその列にわりこんで、電車に乗ってしまう人がよくある。⑥ そういうときに、自分の前に、わきからひとりくらいわりこんできても、ちょっといやな顔をするくらいで、そのまま黙認してしまうことがある。⑦ こういう場合は、「横からわりこんではいけません。」と抗議を申しこむべきである。⑧ それを、ずるずるに黙許してしまうことは、一つの道徳的な罪悪であることを、よく承知すべきである。⑨

(1) 右の文章を三つのたん落に分け、切れめの最後の文の番号でしめしなさい。

(イ) まで　(ロ) まで　(ハ) まで

(2) これは何をさしますか。文中から書きぬきなさい。

（　　）

以上は日本の小学校の4年、5年、6年の国語（日本語）問題集から採りました。中には私立中学、国立大学付属中学などの入学試験問題もあります。諸君の日本語学習の役に立てば幸いです。近藤

1971年 11月 1日

FILMED FROM BEST AVAILABLE COPY